ENVY 17 3D

コンピューターの準備

コンピューターの準備 HP ENVY 17 3D

初版：2011 年 5 月

製品番号：651676-291

製品についての注意事項

このガイドでは、ほとんどのモデルに共通の機能について説明します。一部の機能は、お使いのコンピューターでは使用できない場合があります。

ソフトウェア条項

このコンピューターにプリインストールされている任意のソフトウェア製品をインストール、複製、ダウンロード、またはその他の方法で使用することによって、お客様は HP EULA の条件に従うことに同意したものとみなされます。これらのライセンス条件に同意されない場合、未使用の完全な製品（付属品を含むハードウェアおよびソフトウェア）を 14 日以内に返品し、購入店の返金方針に従って返金を受けてください。

より詳しい情報が必要な場合またはコンピューターの返金を要求する場合は、お近くの販売店にお問い合わせください。

ユーザー ガイド

HP では、当社製品が環境に与える影響を減らすための取り組みを行っています。この取り組みの一つとして、コンピューターのハードドライブ上の[ヘルプとサポート]に『ユーザー ガイド』および[ラーニング センター]を含めています。追加のサポート情報および『ユーザー ガイド』の最新版を Web サイトで参照できます。

安全に関するご注意

警告！ ユーザーが火傷をしたり、コンピューターが過熱状態になったりするおそれがありますので、ひざの上に直接コンピューターを置いて使用したり、コンピューターの通気孔をふさいだりしないでください。コンピューターは、机のようなしっかりとした水平なところに設置してください。通気を妨げるおそれがありますので、隣にプリンターなどの表面の硬いものを設置したり、枕や毛布、または衣類などの表面が柔らかいものを敷いたりしないでください。また、AC アダプターを肌に触れる位置に置いたり、枕や毛布、または衣類などの表面が柔らかいものの上に置いたりしないでください。お使いのコンピューターおよび AC アダプターは、International Standard for Safety of Information Technology Equipment（IEC 60950）で定められた、ユーザーが触れる表面の温度に関する規格に準拠しています。

目次

1 ようこそ

この章では、以下の項目について説明します。

- 新機能
- 情報の確認

コンピューターをセットアップして登録した後に、以下の作業を実行することが重要です。

- **インターネットへの接続**：インターネットに接続できるように、有線ネットワークまたは無線ネットワークをセットアップします。詳しくは、41 ページの「ネットワーク」を参照してください。
- **ウィルス対策ソフトウェアの更新**：ウィルスによる被害からコンピューターを保護します。コンピューターにはウィルス対策ソフトウェアがプリインストールされており、期間限定の無料更新サービスが含まれています。詳しくは、『HP ノートブック コンピューター リファレンス ガイド』を参照してください。
- **コンピューター本体の確認**：お使いのコンピューターの各部や特徴を確認します。詳しくは、27 ページの「コンピューターの概要」および45 ページの「キーボードおよびポインティング デバイス」を参照してください。
- **リカバリ ディスクまたはリカバリ フラッシュ ドライブの作成**：システムが不安定な場合や障害が発生した場合に、オペレーティング システムおよびソフトウェアを工場出荷時の設定に戻します。手順については、75 ページの「バックアップおよび復元」を参照してください。
- **インストールされているソフトウェアの確認**：コンピューターにプリインストールされているソフトウェアの一覧を表示します。[**スタート**]→[**すべてのプログラム**]の順に選択します。コンピューターに付属しているソフトウェアの使用について詳しくは、ソフトウェアの製造元の説明書を参照してください。これらの説明書は、ソフトウェアに含まれている場合やソフトウェアの製造元の Web サイトで提供されている場合があります。

新機能

HP CoolSense

[HP CoolSense]では、コンピューターのパフォーマンス、温度、またはファンの速度および音を制御するようにあらかじめ定義された以下のモードを使用することで、コンピューターの温度設定をより細かく調整できます。

- **[オン]**：温度の上昇を防止し、コンピューターに触れたときに感じる温度を低くする温度設定が実行されます。
- **[オフ]**：[HP CoolSense]をオフにすると、コンピューターが最大のパフォーマンスで動作しますが、[オン]モードの場合よりも温度が高くなる可能性があります。
- **[自動]**（初期設定）：コンピューターを静止した状況で使用しているのか、移動中に使用しているのかを自動的に判断し、使用環境に合わせて温度設定が最適化されます。コンピューターを静止した状況で使用している場合、[HP CoolSense]はパフォーマンス優先の[オフ]モードに設定されます。コンピューターを移動中に使用している場合、[HP CoolSense]は温度管理優先の[オン]モードに設定されます。

冷却設定を変更するには、以下の操作を行います。

1. **[スタート]**→**[すべてのプログラム]**→**[HP]**→**[HP CoolSense]**の順に選択します。
2. 冷却モードを選択します。

HP 3D シネマ テクノロジー

映画館で見るような品質の、ひときわ優れた立体 3D ブルーレイ映画、ステレオ 3D ゲーム、および鮮やかな 3D 写真と 3D ビデオを楽しむことができます。内蔵の 3D 機能とともに 3D メガネを使用するだけで、すばらしい 3D 感覚を体験できます。詳しくは、10 ページの「HP 3D シネマ テクノロジーの使用」を参照してください。

注記： 3D シネマ テクノロジーおよび 3D メガネを使用するには、事前に 3D の安全に関する情報をお読みください。立体的な 3D 映像を見ることに身体面で不安がある場合は、医師に相談してください。詳しくは、11 ページの「3D の安全に関する情報」を参照してください。

Intel®無線ディスプレイ

Intel 無線ディスプレイを使用すると、コンピューターの画面を無線でテレビと共有できます。無線ディスプレイを使用するには、市販の無線テレビ アダプターを別途購入する必要があります。ブルーレイ ディスクなど、出力保護を行っているコンテンツは、Intel 無線ディスプレイには表示されません。無線アダプターの使用について詳しくは、アダプターの製造元の説明書を参照してください。

注記： 無線ディスプレイを使用する前に、お使いのコンピューターで無線が有効になっていることを確認します。

注記： Intel 無線ディスプレイでは、外付けディスプレイ デバイスでの 3D の再生はサポートされません。

HP Beats Audio

[HP Beats Audio]とは、クリアなサウンドを維持しながら制御された低音を提供する拡張オーディオ プロファイルです。[HP Beats Audio]は、初期設定で有効に設定されています。

▲ [HP Beats Audio]の低音設定を調整するには、fn ＋ b キーを押します。

注記： 低音設定の表示と調整は Windows®オペレーティング システムでも行うことができます。低音のプロパティを表示して調整するには、**[スタート]**→**[コントロール パネル]**→**[ハードウェアとサウンド]**→**[Beats Audio Control Panel]**（HP Beats Audio コントロール パネル）の順に選択します。

以下の表に、fn ＋ b キーを押したときに表示される[HP Beats Audio]アイコンを示します。

アイコン	説明
	[HP Beats Audio]が有効になっていることを示します
	[HP Beats Audio]が無効になっていることを示します

グラフィックス モードの切り替え

お使いのコンピューターには、切り替え可能な GPU が搭載されており、2 つのグラフィックス処理モードが用意されています。コンピューターを外部電源からバッテリ電源に切り替えるときに、高パフォーマンス モードから省電力モードに切り替えて、バッテリ寿命を節約できます。同様に、バッテリ電源から外部電源に切り替えるときには、高パフォーマンス モードに戻すことができます。

注記： コンピューターで 3D を再生するには、高性能の GPU が必要になります。

注記： 状況によっては、コンピューターのパフォーマンスを維持するために、モードを切り替えることができない場合や、切り替えを促される場合があります。また、切り替える前にすべてのプログラムを終了する必要がある場合もあります。

外部電源とバッテリ電源を切り替えるときに、グラフィックス モードが切り替わることが、コンピューターによって通知されます。必要に応じて、グラフィックス モードを変更しない選択もできます。モードの切り替え中は、数秒間、画面が何も表示されない状態になります。切り替えが完了すると、通知領域にメッセージが表示され、画面が元に戻ります。

AMD™ Eyefinity マルチディスプレイ テクノロジー

お使いのコンピューターでは、新しい AMD Eyefinity テクノロジーがサポートされています。AMD Eyefinity テクノロジーには以下の機能があります。

- Mini DisplayPort に接続した 1 台を含め、最大 3 台の外付けディスプレイを取り付けることができます。
- 外付けディスプレイのグループを大きい SLS（Single Large Surface）としてまとめ、その全体に渡って画像を表示する、新しいディスプレイ設定を提供します。

注記： AMD Eyefinity テクノロジーでは、3D の再生はサポートされていません。

SLS（Single Large Surface）のディスプレイ設定例

3 台の外付けディスプレイを SLS として使用し、その全体に渡って画像を表示する場合は、コンピューター本体のディスプレイはオフになります。3 台の外付けディスプレイは、外付けモニター コネクタ（VGA）、Mini DisplayPort、および HDMI コネクタを使用してコンピューターに接続します。

注記： SLS モードで表示するには、すべてのディスプレイで同一の解像度が必要です。ネイティブ解像度が異なるディスプレイでは、非ネイティブの解像度を使用することによって SLS モードで表示できます。

注記： Windows 7 では、2 台の外付けディスプレイのみがサポートされます。Windows 7 で 3 台の外付けディスプレイを設定するには、6 ページの「[AMD Catalyst Control Center]（AMD Catalyst コントロール センター）の使用」を参照してください。

画面の切り替え

表示画面切り替え操作キーを押すと、接続されているディスプレイ デバイスの数とは関係なく、4 つの設定の選択肢を表示するダイアログ ボックスが開きます。

- コンピューターのみのモード：外付けディスプレイへの表示をオフにして、画像をコンピューターのディスプレイのみで表示します。
- 複製モード：コンピューター本体のディスプレイに表示されている画像と同じものを、コンピューターの外付けモニター コネクタ（VGA）に接続されている外付けディスプレイにも表示します。
- 拡張モード：デスクトップを、コンピューター本体のディスプレイおよび接続されたすべての外付けディスプレイに拡張します。
- プロジェクターのみのモード：コンピューター本体のディスプレイへの表示をオフにして、接続されているすべての外付けディスプレイを拡張デスクトップとして設定します。

注記： [AMD Catalyst™ Control Center]（AMD Catalyst コントロール センター）を使用して、ビデオの出力先および初期設定の出力デバイスを管理できます。

[AMD Catalyst Control Center]（AMD Catalyst コントロール センター）の使用

デスクトップおよびディスプレイを設定したり、AMD Eyefinity を管理したりするには、[AMD Catalyst Control Center]を使用する必要があります。

[AMD Catalyst Control Center]にアクセスするには、以下の操作を行います。

1. **[スタート]**→**[すべてのプログラム]**→**[Catalyst Control Center]**（Catalyst コントロール センター）→**[CCC]**の順に選択します。
2. **[Desktops and Displays]**（デスクトップとディスプレイ）を選択します。

注記： [AMD Catalyst Control Center]について詳しくは、ソフトウェアのヘルプを参照してください。

情報の確認

コンピューターには、各種タスクの実行に役立つ複数のリソースが用意されています。

リソース	提供される情報
『クイック セットアップ』ポスター（印刷物）	● コンピューターのセットアップ方法 ● コンピューター各部の名称
『コンピューターの準備』 このガイドを表示するには、以下の操作を行います **[スタート]→[ヘルプとサポート]→[ユーザー ガイド]**の順に選択します または **[スタート]→[すべてのプログラム]→[HP]→[HP ドキュメント]**の順に選択します	● コンピューターの機能 ● 無線ネットワークへの接続方法 ● キーボードおよびポインティング デバイスの使用方法 ● ハードドライブおよびメモリ モジュールの交換またはアップグレード方法 ● バックアップおよび復元の実行方法 ● サポート窓口へのお問い合わせ方法 ● コンピューターの仕様
『HP ノートブック コンピューター リファレンス ガイド』 このガイドを表示するには、以下の操作を行います **[スタート]→[ヘルプとサポート]→[ユーザー ガイド]**の順に選択します または **[スタート]→[すべてのプログラム]→[HP]→[HP ドキュメント]**の順に選択します	● 電源の管理機能 ● バッテリ寿命を最大限に延ばす方法 ● コンピューターのマルチメディア機能の使用方法 ● コンピューターを保護する方法 ● コンピューターを手入れする方法 ● ソフトウェアを更新する方法
[ヘルプとサポート] [ヘルプとサポート]にアクセスするには、**[スタート]→[ヘルプとサポート]**の順に選択します **注記：** お住まいの国または地域のサポート情報については、http://www.hp.com/support/でお住まいの国または地域を選択して、画面の説明に沿って操作してください	● オペレーティング システムの情報 ● ソフトウェア、ドライバー、および BIOS のアップデート ● トラブルシューティング ツール ● テクニカル サポートにアクセスする方法

リソース	提供される情報
『規定、安全、および環境に関するご注意』 このガイドを表示するには、以下の操作を行います **[スタート]→[ヘルプとサポート]→[ユーザー ガイド]**の順に選択します または **[スタート]→[すべてのプログラム]→[HP]→[HP ドキュメント]**の順に選択します	• 規定および安全に関する情報 • バッテリの処分に関する情報
『快適に使用していただくために』 このガイドを表示するには、以下の操作を行います **[スタート]→[ヘルプとサポート]→[ユーザー ガイド]**の順に選択します または **[スタート]→[すべてのプログラム]→[HP]→[HP ドキュメント]**の順に選択します または http://www.hp.com/ergo/から[日本語]を選択します	• 正しい作業環境の整え方、作業をする際の正しい姿勢、および作業上の習慣 • 電気的および物理的安全基準に関する情報
『サービスおよびサポートを受けるには』（日本以外の国や地域のお問い合わせ先については、製品に付属している冊子『Worldwide Telephone Numbers』（英語版）を参照してください） この冊子はお使いのコンピューターに付属しています	HP のサポート窓口の電話番号
HP の Web サイト この Web サイトを表示するには、http://www.hp.com/support/にアクセスします	• サポートに関する情報 • 部品の購入とその他のヘルプの確認 • ソフトウェア、ドライバー、および BIOS のアップデート • デバイスで利用可能なオプション製品

リソース	提供される情報
限定保証規定* オンラインの保証を表示するには、以下の操作を行います **[スタート]→[ヘルプとサポート]→[ユーザー ガイド]→[保証に関する情報の確認]** の順に選択します または **[スタート]→[すべてのプログラム]→[HP]→[HP ドキュメント]→[保証に関する情報の確認]**の順に選択します または http://www.hp.com/go/orderdocuments/から[日本（日本語）]を選択します	保証に関する情報

*お使いの製品に適用される HP 限定保証規定は、国や地域によっては、お使いのコンピューターに収録されている電子マニュアルまたは製品に同梱されている CD や DVD に収録されているドキュメントに明示的に示されています。日本向けの日本語モデル製品には、保証内容を記載した小冊子、『サービスおよびサポートを受けるには』が同梱されています。また、日本以外でも、印刷物の HP 限定保証規定が製品に同梱されている国や地域もあります。保証規定が印刷物として提供されていない国または地域では、印刷物のコピーを入手できます。http://www.hp.com/go/orderdocuments/でオンラインで申し込むか、または下記宛てに郵送でお申し込みください。

- **北米**：Hewlett-Packard, MS POD, 11311 Chinden Blvd, Boise, ID 83714, USA
- **ヨーロッパ、中東、アフリカ**：Hewlett-Packard, POD, Via G. Di Vittorio, 9, 20063, Cernusco s/Naviglio (MI), Italy
- **アジア太平洋**：Hewlett-Packard, POD, P.O. Box 200, Alexandra Post Office, Singapore 911507

郵送で請求する場合は、お使いの製品名および保証期間（シリアル番号ラベルに記載されています）、ならびにお客様のお名前およびご住所をお知らせください。

2　HP 3D シネマ テクノロジーの使用

この章では、以下の項目について説明します。

3D の安全に関する情報

3D メガネおよび 3D シネマ テクノロジーを使用するには、事前に以下の安全に関するすべての注意事項をよくお読みください。

⚠ **警告！** 3D シネマ テクノロジーをセットアップしても 3D コンテンツを見ることができない場合は、使用を中止することをおすすめします。立体的な 3D 映像を見ることに身体面で不安がある場合は、医師に相談してください。

光感受性発作：人によっては、3D コンテンツで表示されることのある点滅光や点滅パターンなどの特定の視覚映像にさらされると、発作またはその他の合併症を起こすことがあります。お客様自身または血縁者に発作またはてんかんの病歴がある場合は、3D メガネおよび 3D シネマ テクノロジーを使用する前に、医師に相談してください。発作またはてんかんを起こしたことのある血縁者がいない場合でも、光感受性発作を引き起こすことのある疾患が診断されないままになっていることがあります。

視覚の変化、ふらつき感、目まい、目や筋肉の痙攣などの不随意運動、ひきつけ、吐き気、認識力の喪失、意識障害、こむらがえり、失見当識の症状のどれかが出た場合は、3D コンテンツの鑑賞をすぐに止め、医師に相談してください。お子様の場合は、保護者の方が様子に目を配り、前に述べた症状がないかお子様にたずねてください。子どもや未成年は、成人よりもこのような症状が出やすいことがあります。

眠気、疲れを感じるときや、病気にかかっているときは、3D コンテンツを鑑賞しないでください。3D メガネをかけて 3D を長時間鑑賞すると、頭痛や疲れの原因となることがあります。頭痛、疲れ、または目まいを感じた場合は、3D メガネを外して休んでください。

視覚には変化する能力が備わっているため、3D メガネを通して見ることにも対応できます。3D メガネを外したら、数分待ってから通常の活動を再開してください。

3D コンテンツには見る人に刺激を与えるものがあります。妊娠中の方、高齢の方、てんかんの症状がある方や、身体に重大な疾患がある方は、コンピューターの 3D 機能を使用しないことをおすすめします。

幼い子ども（特に 6 歳未満）の視覚は発達の途上にあります。幼い子どもに 3D ビデオ画像の鑑賞または 3D ビデオ ゲームで遊ぶことを許可する前に医師（小児科医、眼科医など）に相談してください。保護者の方は幼い子どもに目を配って、ここで説明している注意事項を確実に守らせるようにしてください。

窒息の危険：3D メガネには小さな部品が含まれており、乳幼児の使用を想定していません。

3D メガネは水の近くで使用しないでください。

3D メガネのレンズにはガラスが含まれます。レンズの損傷を防ぐためには、3D メガネを慎重に取り扱い、使用しないときは適切に保管してください。レンズの損傷や亀裂が疑われる場合は、3D メガネを使用しないでください。

3D メガネは度付きのメガネや、サングラス、および保護ゴーグルではありません。身体障害を防止するために、3D メガネを一般的な眼鏡等の用途に使用しないでください。

立体視覚と 3D について

両目で見るとき、人間は実際には 1 つに合成された 2 つの像を見ています。右目と左目はそれぞれ別の像を脳に伝達し、脳はこれらの 2 つの像を 1 つの完全な 3 次元像に合成します。

これまでのほとんどの映画は、スクリーン上に 1 つの像しか映すことができず、3D 効果は他の方法で模すしかありませんでした。しかし、HP 3D アクティブ シャッター メガネはそれぞれの目に違う像を見せるため、3D 視覚をより細密に模します。

3D コンテンツの各シーンには 2 つの画像があり、1 つは右目、もう 1 つは左目の視点で描かれています。コンピューターのディスプレイはこれらの画像を高速で交互に表示するため、人間の目は変化を認識しません。

3D メガネの各レンズにはシャッターが付いています。画面に右目用の画像が表示されるとき、3D メガネの左レンズが閉じられるため、右目のみが画像を見ることができます。左目用の画像が表示されるときはプロセスが逆になり、左目のみが画像を見ることができます。こうした画像の交互表示は非常に高速に行われるため、目には 1 つの途切れのない像として映り、本当に 3D 環境の中にいるような感覚がもたらされます。

HP 3D シネマ テクノロジーについて

3D シネマ テクノロジーによって、3D を鮮やかに、実体験のように楽しめるようになります。3D メガネをかけて、コンピューターでブルーレイ 3D 映画を鑑賞したり、ステレオ 3D ゲームで遊んだり、3D 写真や 3D ビデオを再生したりすると、画面から画像が飛び出してくるように見えます。3D は、まったく新しい視覚体験をもたらします。3D シネマ テクノロジーには、ひときわ優れた 3D 体験に必要なすべてのコンポーネントが含まれています。他のソフトウェアをまったく使用しないで、映画館で見るような品質の 3D 映像を楽しめます。

この 3D 体験を実現するために、以下の機能や装置が搭載されています。

- 3D ブルーレイ コンテンツ専用に設計、最適化された 3D テクノロジー
- 3D コンピューター ディスプレイと無線で同期する 3D アクティブ シャッター メガネ
- 3D フル HD 対応 1080p ディスプレイ
- TriDef™ 3D Experience Ignition ゲーム プレーヤー
- CyberLink PowerDVD

注記： コンピューターのモデルによっては、3D コンテンツが含まれているため、3D をすぐに楽しめます。

このコンピューターは 2D 形式と 3D 形式の両方をサポートしています。立体 3D が検出され、3D メガネが有効になるまで、コンピューターは通常の 2D モードで動作します。

HP 3D アクティブ シャッター メガネの使用

3D 体験は、有効な 3D コンテンツと 3D メガネを用意することから始まります。3D メガネは電池で動作し、3D コンピューターの赤外線（IR）エミッターに無線で接続されます。

警告！ 3D メガネを使用するには、事前に 3D の安全に関する情報をお読みください。

注記： 最適な状態で 3D を再生するには、コンピューターのディスプレイから約 **1.5 m**（5 フィート）以内に座ってください。表示角度によって、画像を見ることのできるディスプレイからの距離は異なります。

立体的な 3D 画像を見るときは、顔を水平に保つようにしてください。

赤外線エミッター周囲には障害物を置かないでください。赤外線エミッターの位置について詳しくは、27 ページの「コンピューターの概要」を参照してください。

注記： 3D メガネを使用する前に、レンズの両面からクリア保護フィルムをはがしてください（一部のモデルのみ）。

3D メガネの各部の位置と名称

名称	
(1)	電池ホルダー **注記：** 電池はあらかじめ装着されており、保護用のタブが取り付けられている場合があります。タブが取り付けられている場合は、タブを引っ張って引き抜いてから使用してください
(2)	ノーズ パッド（鼻当て）（×3） **注記：** サイズの異なる 3 つのノーズ パッドが用意されています。1 つは 3D メガネに取り付けられていて、残りの 2 つのノーズ パッドは 3D メガネに同梱されています

3D メガネのオン/オフの切り替え

3D メガネの使い方は簡単です。

- 3D メガネのオン/オフは自動で切り替わります。オン/オフの切り替えスイッチはありません。
- 3D コンテンツの再生が始まると、3D メガネはコンピューターからの赤外線信号を検出し、自動でオンになります。
- 3D コンテンツの再生が始まると、3D メガネの起動中にレンズが暗くなったように感じられたり、少しちらつくように感じられたりすることがあります。
- 3D メガネに取り付けられた電池は、3D を約 150 時間再生できます。電池を節約するために、赤外線信号が 5 秒間検出されないと、3D メガネはスタンバイ状態になります。

3D シネマ テクノロジーの使用

3D コンピューターをセットアップしたら、3D コンテンツを適切に再生できるかどうか確認します。

注記： 3D コンテンツを再生するときは、コンピューターを外部電源に接続してください。コンピューターで 3D を再生するには、高性能の GPU が必要になります。

注記： 立体的な 3D 効果は、暗くした部屋の中で最もよく発揮されます。最適な状態で 3D を再生するために、3D コンテンツの鑑賞時には、画面輝度コントロールも無効になります。

1. 3D コンテンツにアクセスするには、以下のどちらかの操作を行います。

- コンピューターのデスクトップにある 3D デモ アイコンをダブルクリックし、メニューから 3D クリップを選択します。
- コンピューターのスロット ローディング式オプティカル ドライブにブルーレイ 3D 映画（別売）を挿入し、画面の説明に沿って操作します。

  注記： カチッと音がして固定されるまでディスクをオプティカル ドライブに挿入します。ディスクを取り出すには、キーボードの右上隅にあるオプティカル ドライブのイジェクト キーを押します。

2. 3D メガネをかけます。必要に応じて、付属のノーズ パッドを使用して 3D メガネを調整します。
3. 3D コンテンツの再生が始まり、赤外線信号が検出されると、3D メガネは自動でオンになります。3D メガネが起動している間、レンズが暗くなったり、ちらついたりすることがあります。

   3D ではっきりと表示されれば、セットアップは完了です。3D 映画コンテンツをお楽しみください。

注記： 部屋の照明と 3D シネマ テクノロジーの動作周波数の差異によって、ちらつきが出たり、3D メガネの動作に干渉が起こったりする可能性があります。この問題は、照明を暗くするか、または消すことで回避できます。

警告！ 調整後も 3D コンテンツを見ることができない場合は、3D メガネを外し、3D シネマ テクノロジーの使用を中止してください。3D の安全に関する情報を参照し、立体的な 3D 映像を見ることに身体面で不安がある場合は、医師に相談してください。

3D の形式について

お使いのコンピューターは、以下の 3D 形式をサポートしています。

- ブルーレイ 3D 映画
- 立体的な 3D ゲーム
- 3D ビデオ再生用の 3D MPEG 4 MVC ファイル
- 3D ビデオ再生用の 3D H.264 MVC および Fujifilm AVI デュアルストリーム ビデオ ファイル形式
- 3D 写真表示用の 3D Fujifilm MPO

注記： 3D の再生は、全画面モードのみをサポートしています。

[CyberLink PowerDVD]の使用

[CyberLink PowerDVD]は、3D ブルーレイ DVD、3D ビデオ ファイル、およびネイティブの 3D 写真をサポートしています。3D モードが有効になっている場合、ネイティブの 3D ブルーレイ DVD を挿入するか、またはネイティブの 3D ビデオ/写真ファイルを再生すると、自動的に 3D で再生します。

再生中に、3D 構成設定を手動で調整して、立体 3D を見やすく再生することもできます。[CyberLink PowerDVD]の使用方法について詳しくは、ソフトウェアのヘルプを参照してください。

▲ [CyberLink PowerDVD]を起動するには、**[スタート]**→**[すべてのプログラム]**→**[CyberLink PowerDVD]**の順に選択し、**[CyberLink PowerDVD]**をクリックします。

3D ゲームで遊ぶ

[TriDef 3D Experience Ignition ゲーム プレーヤー]を使用すると、お使いのコンピューターでステレオ 3D ゲームを楽しめます。

▲ このゲーム プレーヤーにアクセスするには、**[スタート]**→**[TriDef 3D]**→**[TriDef 3D Ignition]**の順に選択します。

3D テレビでの 3D コンテンツの表示

HDMI 1.4 コネクタを使用すると、外付けの 3D HDTV または 3D プロジェクター（別売）でブルーレイ 3D 映画を再生できます。3D テレビでコンテンツを視聴するには、コンピューターをプロジェクターのみのモードに設定し、高速 HDMI ケーブルでテレビに接続する必要があります。また、コンピューターに付属の 3D メガネではなく、テレビに付属の 3D メガネを使用する必要があります。

注記： チェッカーボード、水平インターリーブ、および HDMI 1.4 タイムシーケンシャル方式の 3D テレビのみがサポートされています。

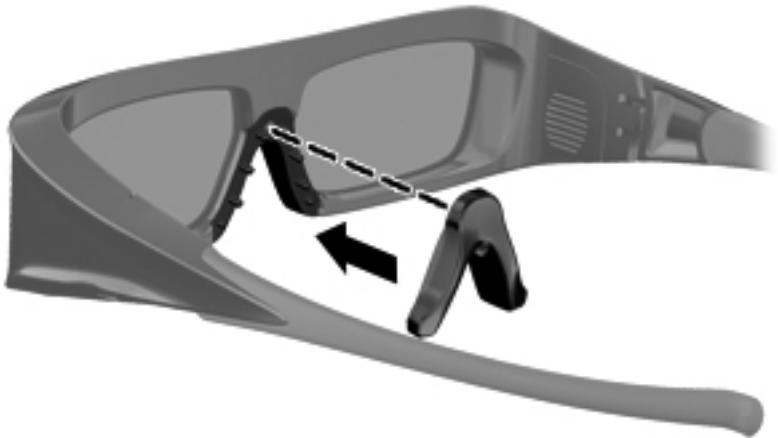
注記： 写真およびビデオの 3D 再生は、このコンピューターのディスプレイのみでサポートされています。

3D メガネの取り扱い

ノーズ パッドの使用

3D メガネには、サイズの異なる 3 つのノーズ パッドが用意されています。1 つは工場出荷時に 3D メガネに取り付けられていて、残りの 2 つのノーズ パッドは 3D メガネに同梱されています。3D メガネをかけてみてフィットしない場合は、ノーズ パッドを変えて一番フィットするものを見つけてください。必要に応じて、ノーズ パッドを装着しないで 3D メガネをかけることもできます。

注記： この 3D メガネは、多くの度付きメガネの上からかけられるようになっています。

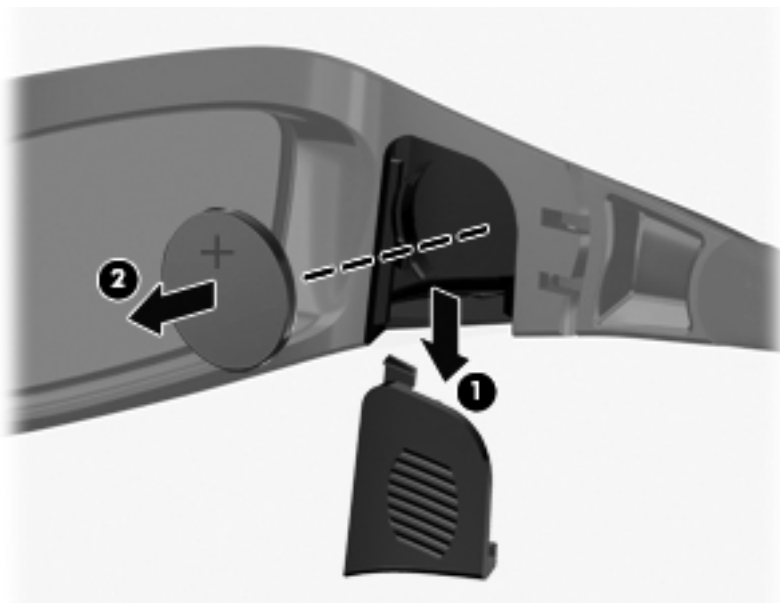
▲ ノーズ パッドを取り付けるには、ノーズ パッドを 3D メガネに装着します。ノーズ パッドを取り外すには、ノーズ パッドを 3D メガネから引き離します。

電池の交換

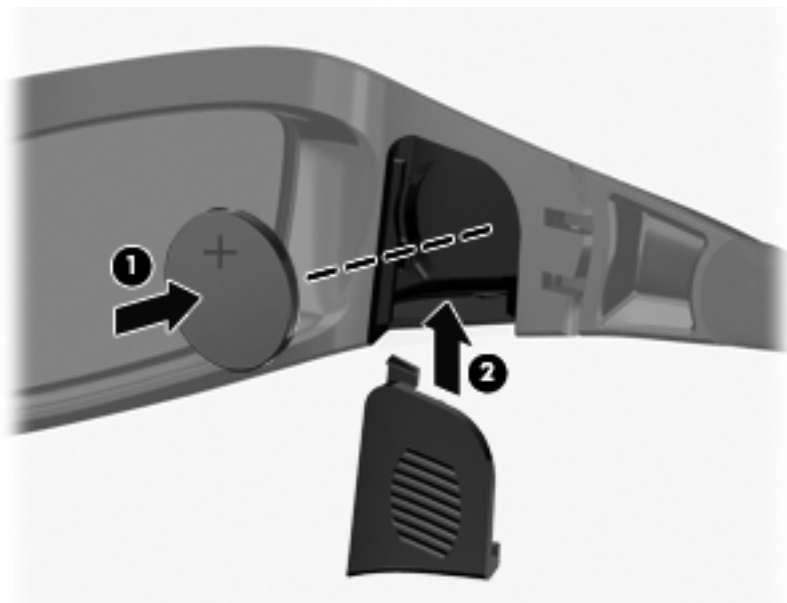
3D メガネの電池は、出荷時に電池ホルダーにあらかじめ装着されていて､3D を約 150 時間再生できます。電池は 1 年に 1 回交換することをおすすめします。3D メガネは最長で 1 年間スタンバイ モードにできます。この 3D メガネは簡易な CR2032 リチウム電池を使用しています。この電池は交換しやすく、電池を販売している多くの店舗で取り扱われています。

⚠ **警告！** 電池を交換する場合は、CR2032 型電池のみを使用してください。他の電池を使用すると、火災や爆発が発生するおそれがあります。

使用済みの電池は、お住まいの地域の規則に従って、正しく処分してください。子どもが電池に触れないようにしてください。

電池を交換するには、以下の操作を行います。

1. 電池ホルダー カバーを下方向にスライドさせてから（**1**）、使用済みの電池を取り外します（**2**）。

2. プラス（＋）側を電池ホルダー カバーの方に向けて新しい電池を慎重に挿入し（**1**）、電池ホルダー カバーを元の場所に取り付けます（**2**）。

⚠ **注意：** 3D メガネの損傷を防ぐため、電池を装着するときは慎重に行ってください。

3D メガネの清掃

汚れやごみを除去するには、必要に応じて、柔らかく湿り気のある、毛羽立たない布で 3D メガネを清掃してください。布を軽く湿らせるには、アルコール分が 10%未満の刺激の少ない洗浄剤を使用できます。

⚠ **注意：** 3D メガネの損傷を防ぐため、以下の点に注意してください。

紙素材のタオルを使用しないでください。レンズに傷が付く可能性があります。

レンズに洗浄液または洗浄剤を直接吹きかけないでください。

アンモニア ベースの清掃用製品は使用しないでください。

3D メガネの取り扱い

3D メガネは耐久性がありますが、物理的な圧力に弱いため、慎重に取り扱ってください。レンズに指紋が付くことを防ぐため、3D メガネを取り扱うときはフレームを持ってください。3D メガネを使用しないときには、保管用ポーチに入れておいてください。

注意： レンズにひびが入ることを防ぐため、3D メガネは決してねじったり、回転させたりしないでください。

トラブルシューティングおよびよく寄せられる質問

3D コンテンツを見ることができません

3D モードになっているときに 3D コンテンツを見ることができない場合は、3D メガネを使用しないことをおすすめします。詳しくは、以下の情報および11 ページの「3D の安全に関する情報」を参照してください。立体的な 3D 映像を見ることに身体面で不安がある場合は、医師に相談してください。

- 3D コンテンツを 2D モードで鑑賞しようとしていませんか。
- 3D メガネのレンズの両面に貼られているクリア保護フィルムをはがし忘れていませんか（一部のモデルのみ）。
- 3D メガネの電池を交換する必要はありませんか。詳しくは、21 ページの「電池の交換」を参照してください。
- コンピューターのディスプレイの赤外線エミッターがふさがれていませんか。転送が最適に行われるようにするため、赤外線エミッターの周囲には障害物を置かないでください。赤外線エミッターの位置について詳しくは、27 ページの「コンピューターの概要」を参照してください。
- コンピューターのディスプレイからの距離が遠すぎませんか。3D コンテンツを再生するときは、ディスプレイから約 **1.5 m**（5 フィート）以内に座ってください。

注記： 表示角度によって、画像を見ることのできるディスプレイからの距離は異なります。

コンピューターではどの 3D 形式がサポートされていますか

お使いのコンピューターでは以下の 3D 形式がサポートされています。

- ブルーレイ 3D 映画
- 立体的な 3D ゲーム
- 3D ビデオ再生用の 3D MPEG 4 MVC ファイル
- 3D ビデオ再生用の 3D H.264 MVC および Fujifilm AVI デュアルストリーム ビデオ ファイル形式
- 3D 写真表示用の 3D Fujifilm MPO

コンピューターは立体的な 3D ゲームをサポートしていますか

はい。[TriDef 3D Experience Ignition ゲーム プレーヤー]を使用すると、お使いのコンピューターでステレオ 3D ゲームを楽しめます。

▲ このゲーム プレーヤーにアクセスするには、[**スタート**]→[**TriDef 3D**]→[**TriDef 3D Ignition**]の順に選択します。

このコンピューターの 3D メガネを映画館で上映される 3D 映画に使用できますか

この 3D メガネは、HP ENVY[17] 3D コンピューターおよび内蔵赤外線エミッターで機能するように最適化されています。この 3D メガネでは、他の 3D 環境での最適な動作は保証されていません。

度付きメガネの上に 3D メガネをかけられますか

はい。この 3D メガネは、多くの度付きメガネの上からかけられるようになっています。普段コンピューターの画面を見るときにメガネをかけている場合は、外さずに、その上から 3D メガネをかけてください。フィットしない場合は、他の交換用ノーズ パッド（鼻当て）を使用して、一番フィットするものを見つけてください。詳しくは、15 ページの「HP 3D アクティブ シャッター メガネの使用」を参照してください。

3D メガネを清掃するにはどうしたらよいですか

軽く湿らせた、柔らかく、毛羽立たない布で 3D メガネを拭いてください。詳しくは、20 ページの「3D メガネの取り扱い」を参照してください。

3D コンテンツを見るには、コンピューターからどのくらいの距離に座ればよいですか

内蔵赤外線エミッターの有効距離は、コンピューターのディスプレイから約 **1.5 m**（5 フィート）です。表示角度によって、画像を見ることのできるディスプレイからの距離は異なります。

3D コンテンツの鑑賞時にちらつきます

3D メガネのちらつきは、以下のどちらかが原因で発生することがあります。

- 部屋の照明と 3D シネマ テクノロジーの動作周波数の差異によって、ちらつきが出たり、3D メガネの動作に干渉が起こったりする可能性があります。この問題は、照明を暗くするか、または消すことで回避できます。
- 3D メガネの電池が切れかかっています。電池を交換してみてください。

窓のそばの明るい日の光の中で 3D メガネを使用できますか

立体的な 3D 効果は、暗くした部屋の中で最もよく発揮されます。

3D メガネにはどの種類の電池が必要ですか

この 3D メガネは簡易な CR2032 リチウム電池を使用しています。この電池は交換しやすく、電池を販売している多くの店舗で取り扱われています。詳しくは、21 ページの「電池の交換」を参照してください。

コンピューターを使用して、外付けの 3D テレビで 3D コンテンツを視聴できますか

はい。高速 HDMI1.4 ケーブルを使用してコンピューターと外付けの 3D テレビ（別売）を接続すれば、3D テレビで 3D コンテンツを視聴できます。

注記： チェッカーボード、水平インターリーブ、および HDMI 1.4 タイムシーケンシャル方式の 3D テレビのみがサポートされています。

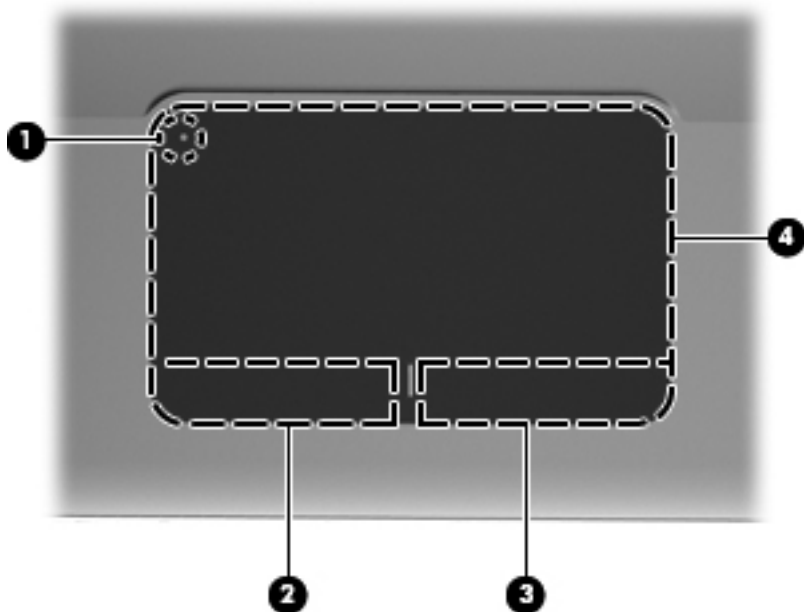
注記： 外付けの 3D テレビで 3D コンテンツを視聴するには、コンピューターに付属の 3D メガネではなく、テレビに付属の 3D メガネを使用する必要があります。

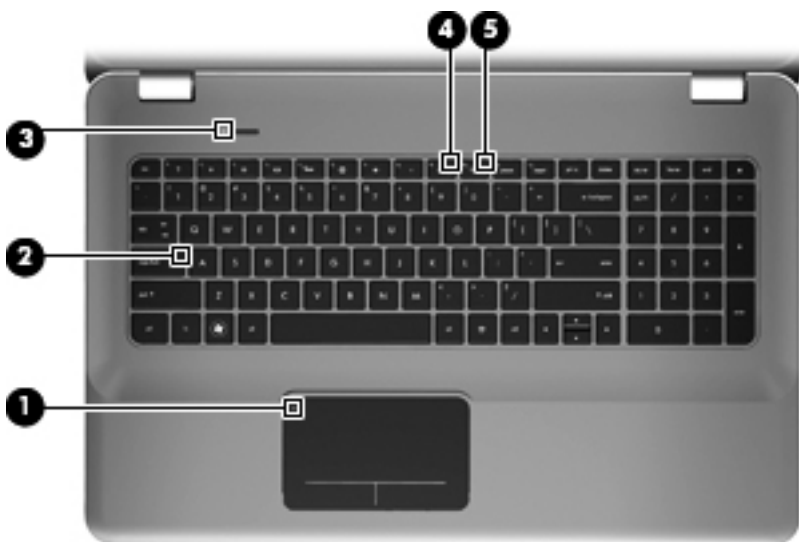
3 コンピューターの概要

この章では、以下の項目について説明します。

- 表面の各部
- 前面の各部
- 右側面の各部
- 左側面の各部
- ディスプレイの各部
- 裏面の各部

表面の各部

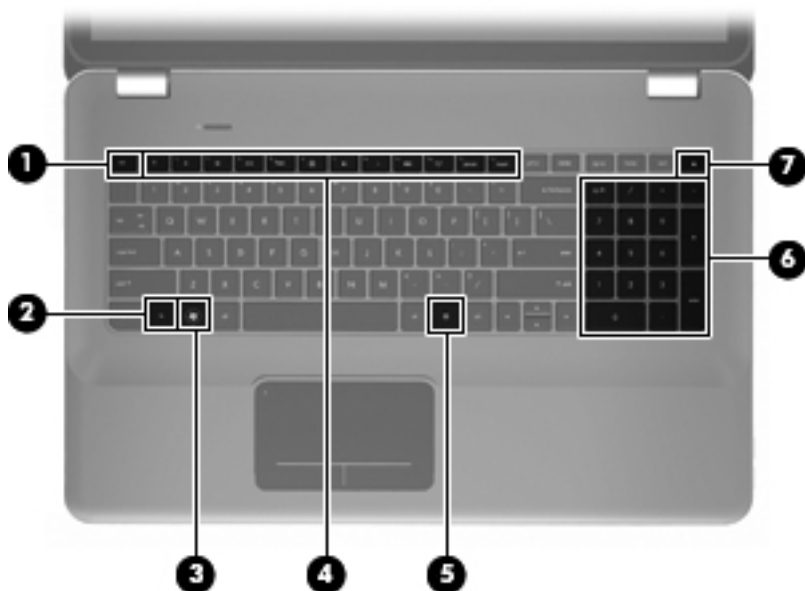
タッチパッド

名称			説明
(1)	●	タッチパッド ランプ	タッチパッドをオンまたはオフにします。タッチパッドをオンまたはオフにするには、タッチパッド ランプをすばやくダブルタップします
(2)		左のタッチパッド ボタン	外付けマウスの左ボタンと同様に機能します
(3)		右のタッチパッド ボタン	外付けマウスの右ボタンと同様に機能します
(4)		タッチパッド ゾーン	ポインターを移動して、画面上の項目を選択したり、アクティブにしたりします

ランプ

名称			説明
(1)	●	タッチパッド ランプ	• オレンジ色：タッチパッドがオフになっています • 消灯：タッチパッドがオンになっています
(2)		Caps Lock ランプ	• 白色：Caps Lock がオンになっています • 消灯：Caps Lock がオフになっています

名称			説明
（3）		電源ランプ	• 白色に点灯：コンピューターの電源がオンになっています • 白色で点滅：コンピューターがスリープ状態になっています • 消灯：コンピューターの電源がオフになっているか、ハイバネーション状態になっています
（4）		ミュート（消音）ランプ	• オレンジ色：コンピューターのサウンドがオフになっています • 消灯：コンピューターのサウンドがオンになっています
（5）		無線ランプ	• 白色：無線ローカル エリア ネットワーク（無線 LAN）デバイスなどの内蔵無線デバイスの電源がオンになっています **注記：** 無線デバイスは、出荷時に有効に設定されています • オレンジ色：すべての無線デバイスがオフになっています

ボタン

名称		説明
	電源ボタン	● コンピューターの電源が切れているときにボタンを押すと、電源が入ります ● コンピューターの電源が入っているときにボタンを短く押すと、スリープが開始されます ● コンピューターがスリープ状態のときにボタンを短く押すと、スリープが終了します ● コンピューターがハイバネーション状態のときにボタンを短く押すと、ハイバネーションが終了します コンピューターが応答せず、Windows のシャットダウン手順を実行できないときは、電源ボタンを 5 秒程度押したままにすると、コンピューターの電源が切れます 電源設定について詳しくは、**[スタート]**→**[コントロール パネル]**→**[システムとセキュリティ]**→**[電源オプション]**の順に選択するか、または『HP ノートブック コンピューター リファレンス ガイド』を参照します

キー

名称			説明
(1)		esc キー	fn キーと組み合わせて押すことによって、システム情報を表示します
(2)		fn キー	b キーまたは esc キーと組み合わせて押すことによって、頻繁に使用するシステムの機能を実行します
(3)		Windows ロゴ キー	Windows の[スタート]メニューを表示します
(4)		操作キー	頻繁に使用するシステムの機能を実行します
(5)		Windows アプリケーション キー	ポインターを置いた項目のショートカット メニューを表示します
(6)		内蔵テンキー	外付けテンキーと同じように使用できます。上の図は英語版のキー配列です。日本語版のキー配列とは若干異なりますが、内蔵テンキーの位置は同じです
(7)		オプティカル ドライブのイジェクト キー	オプティカル ドライブからオプティカル ディスクを取り出します

前面の各部

名称			説明
（1）		電源ランプ	● 白色に点灯：コンピューターの電源がオンになっています ● 白色で点滅：コンピューターがスリープ状態になっています ● 消灯：コンピューターの電源がオフになっているか、ハイバネーション状態になっています
（2）		ハードドライブ ランプ	● 白色で点滅：ハードドライブにアクセスしています ● オレンジ色：HP プロテクトスマート テクノロジーによってハードドライブが一時停止しています **注記：** HP プロテクトスマート テクノロジー（HP ProtectSmart Hard Drive Protection）について詳しくは、『HP ノートブック コンピューター リファレンス ガイド』を参照してください
（3）		スピーカー（×2）	サウンドを出力します

右側面の各部

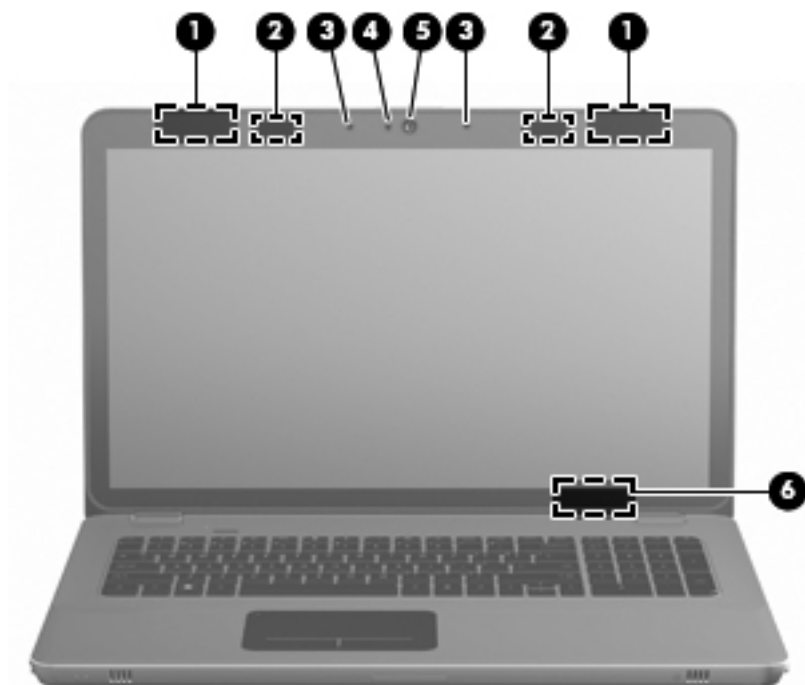
名称		説明
(1)	USB コネクタ（×2）	別売の USB デバイスを接続します
(2)	メディア スロット	以下のフォーマットのメディア カードに対応しています • メモリースティック • メモリースティック PRO • マルチメディアカード • SD（Secure Digital）メモリーカード • Secure Digital High Capacity メモリーカード • xD ピクチャーカード
(3)	オプティカル ドライブ	オプティカル ディスクの読み取りおよび書き込みを行います **注意：** 8 cm のオプティカル ディスクはオプティカル ドライブに挿入できません。挿入するとコンピューターが損傷する可能性があります
(4)	バッテリ ランプ	• 白色：コンピューターは外部電源に接続され、バッテリの充電は完了しています • オレンジ色に点灯：バッテリが充電中です • オレンジ色で点滅：バッテリがロー バッテリ状態と完全なロー バッテリ状態のどちらかになっているか、またはバッテリ エラーが発生しています • 消灯：お使いのコンピューターはバッテリ電源で動作しています

名称			説明
（5）		電源コネクタ	AC アダプターを接続します
（6）		セキュリティ ロック ケーブル用スロット	別売のセキュリティ ロック ケーブルをコンピューターに接続します **注記：** セキュリティ ロック ケーブルに抑止効果はありますが、コンピューターの盗難や誤った取り扱いを完全に防ぐものではありません

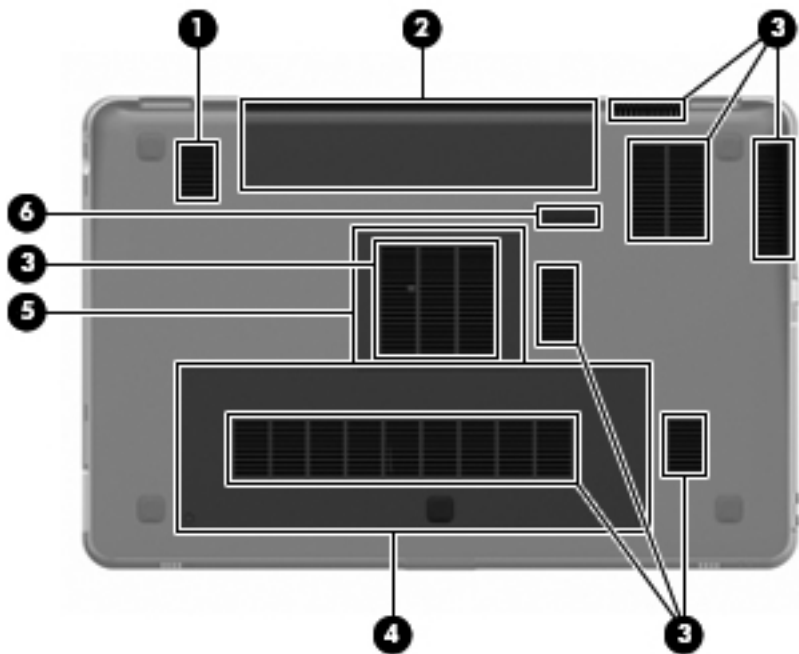
左側面の各部

名称		説明
(1)	通気孔	コンピューター内部の温度が上がりすぎないように空気を通します **注記：** 内部コンポーネントを冷却して過熱を防ぐため、コンピューターのファンは自動的に作動します。通常の操作を行っているときに内部ファンが回転したり停止したりしますが、これは正常な動作です
(2)	外付けモニター コネクタ	外付け VGA モニターまたはプロジェクターを接続します
(3)	RJ-45（ネットワーク）コネクタ	ネットワーク ケーブルを接続します
(4)	Mini DisplayPort	高性能なモニターやプロジェクターなどの別売のデジタル ディスプレイ デバイスを接続します
(5)	HDMI コネクタ	HD 対応テレビなどの別売のビデオ デバイスやオーディオ デバイス、対応するデジタルコンポーネントやオーディオ コンポーネント、または高速 HDMI1.4 デバイスを接続します
(6)	eSATA/USB コネクタ	eSATA 外付けハードドライブなどの高性能な eSATA コンポーネント、または別売の USB 2.0 デバイスを接続します
(7)	USB 3.0 コネクタ	別売の USB 3.0 デバイスを接続し、拡張された USB 電源のパフォーマンスを提供します **注記：** また、USB 3.0 コネクタは USB 1.0 および 2.0 のデバイスにも対応しています

名称			説明
(8)		オーディオ出力(ヘッドフォン)コネクタ/オーディオ入力(マイク)コネクタ	別売の電源付きステレオ スピーカー、ヘッドフォン、イヤフォン、ヘッドセット、またはテレビ オーディオに接続したときに、サウンドを出力します。別売のヘッドセット マイクもここに接続します **警告!** 突然大きな音が出て耳を傷めることがないように、音量の調節を行ってからヘッドフォン、イヤフォン、またはヘッドセットを使用してください。安全に関する情報について詳しくは、『規定、安全、および環境に関するご注意』を参照してください **注記:** コネクタにデバイスを接続すると、コンピューター本体のスピーカーは無効になります
(9)		オーディオ出力(ヘッドフォン)コネクタ	別売の電源付きステレオ スピーカー、ヘッドフォン、イヤフォン、ヘッドセット、またはテレビ オーディオを接続したときに、サウンドを出力します **警告!** 突然大きな音が出て耳を傷めることがないように、音量の調節を行ってからヘッドフォン、イヤフォン、またはヘッドセットを使用してください。安全に関する情報について詳しくは、『規定、安全、および環境に関するご注意』を参照してください **注記:** コネクタにデバイスを接続すると、コンピューター本体のスピーカーは無効になります

ディスプレイの各部

名称		説明
(1)	無線 LAN アンテナ（×2）*	無線ローカル エリア ネットワーク（無線 LAN）で通信する無線信号を送受信します
(2)	赤外線エミッター（×2）*	3D メガネをコンピューターのディスプレイと無線で同期させます
(3)	内蔵マイク（×2）	サウンドを録音します
(4)	Web カメラ ランプ	点灯：Web カメラを使用しています
(5)	Web カメラ	動画を録画したり、静止画像を撮影したりします Web カメラにアクセスするには、**[スタート]**→**[すべてのプログラム]**→**[CyberLink YouCam]**の順に選択します

名称	説明
（6）　内蔵ディスプレイ スイッチ	コンピューターの電源が入っている状態でディスプレイを閉じると、ディスプレイの電源が切れてスリープが開始します **注記：**　内蔵ディスプレイ スイッチはコンピューターの外側からは見えません
*アンテナおよび赤外線エミッターはコンピューターの外側からは見えません。転送が最適に行われるようにするため、アンテナおよび赤外線エミッターの周囲には障害物を置かないでください。お住まいの国または地域の無線に関する規定情報については、『規定、安全、および環境に関するご注意』を参照してください。これらの規定情報には、[ヘルプとサポート]からアクセスできます。	

裏面の各部

名称		説明
（1）	サブウーファー	優れた低音を再生します
（2）	バッテリ ベイ	バッテリが装着されています **注記：** バッテリは、出荷時にバッテリ ベイにあらかじめ装着されています
（3）	通気孔（×7）	コンピューター内部の温度が上がりすぎないように空気を通します **注記：** 内部コンポーネントを冷却して過熱を防ぐため、コンピューターのファンは自動的に作動します。通常の操作を行っているときに内部ファンが回転したり停止したりしますが、これは正常な動作です
（4）	ハードドライブ ベイ	ハードドライブが装着されています

名称			説明
（5）		メモリ モジュール コンパートメント	メモリ モジュールが装着されています
（6）		バッテリ リリース ラッチ	バッテリ ベイからバッテリを取り外します

4　ネットワーク

- インターネット サービス プロバイダー（ISP）の使用
- 無線ネットワークへの接続

注記：　インターネット用ハードウェアおよびソフトウェア機能は、コンピューターのモデルおよびお使いの場所によって異なる可能性があります。

お使いのコンピューターは、以下のどちらか 1 つまたは両方のインターネット アクセスに対応できます。

- 無線：モバイル インターネット接続には、無線接続を使用できます。詳しくは、43 ページの「既存の無線 LAN への接続」または43 ページの「新しい無線 LAN ネットワークのセットアップ」を参照してください。
- 有線：有線ネットワークに接続することで、インターネットにアクセスできます。有線ネットワークへの接続について詳しくは、『HP ノートブック コンピューター リファレンス ガイド』を参照してください。

インターネット サービス プロバイダー（ISP）の使用

インターネットに接続する前に、ISP アカウントを設定する必要があります。インターネット サービスの申し込みおよびモデムの購入については、利用する ISP に問い合わせてください。ほとんどの ISP が、モデムのセットアップ、無線コンピューターをモデムに接続するためのネットワーク ケーブルの取り付け、インターネット サービスのテストなどの作業へのサポートを提供しています。

注記： インターネットにアクセスするためのユーザー ID およびパスワードは、利用する ISP から提供されます。この情報は、記録して安全な場所に保管しておいてください。

以下の機能で、新しいインターネットのアカウントを作成したり、コンピューターで既存のアカウントを使用するよう設定したりできます。

- **Internet Services & Offers（一部の地域で利用可能）**：このユーティリティでは、新しいインターネット アカウントのサインアップを実行したり、既存のアカウントを使用できるようにコンピューターを設定したりできます。このユーティリティにアクセスするには、［**スタート**］→［**すべてのプログラム**］→［**オンライン サービス**］→［**Get Online**］（インターネットに接続）の順に選択します。
- **ISP 提供のアイコン（一部の地域で利用可能）**：これらのアイコンは、Windows デスクトップに個別に表示されているか、または「オンライン サービス」という名前のデスクトップ上のフォルダーに格納されています。新しいインターネット アカウントをセットアップしたりコンピューターで既存のアカウントを使用するよう設定したりするには、アイコンをダブルクリックして、画面の説明に沿って操作します。
- **Windows のインターネットへの接続ウィザード**：以下の場合、Windows のインターネットへの接続ウィザードを使用してインターネットに接続できます。
  - すでに ISP のアカウントを持っている場合
  - インターネット アカウントを持っていないためウィザード内の一覧から ISP を選択する場合（ISP の一覧は地域によっては表示されない場合があります）
  - 一覧にない ISP を選択し、その ISP から特定の IP アドレス、POP3、SMTP 設定などの情報が提供された場合

  Windows のインターネットへの接続ウィザードおよびこのウィザードの使用手順を表示するには、［**スタート**］→［**コントロール パネル**］

→[**ネットワークとインターネット**]→[**ネットワークと共有センター**]の順に選択します。

注記： ウィザード内で Windows ファイアウォールの有効/無効を選択する画面が表示された場合は、ファイアウォールを有効にします。

無線ネットワークへの接続

無線技術では、有線のケーブルの代わりに電波を介してデータを転送します。お買い上げいただいたコンピューターには、以下の無線デバイスが 1 つ以上内蔵されている場合があります。

- 無線ローカル エリア ネットワーク（無線 LAN）デバイス
- HP モバイル ブロードバンド モジュール、無線ワイド エリア ネットワーク（無線 WAN）デバイス
- Bluetooth®デバイス

無線技術および無線ネットワークへの接続について詳しくは、『HP ノートブック コンピューター リファレンス ガイド』および[ヘルプとサポート]の情報および Web サイトへのリンクを参照してください。

既存の無線 LAN への接続

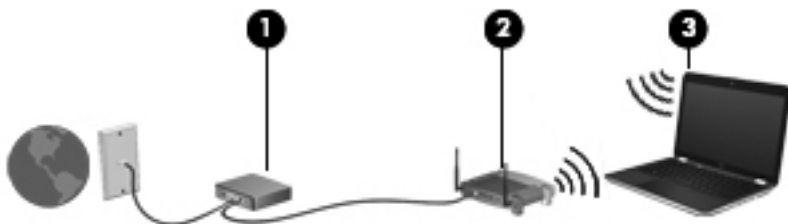
1. コンピューターの電源を入れます。
2. 無線 LAN デバイスがオンになっていることを確認します。
3. タスクバーの右端の通知領域にあるネットワーク アイコンをクリックします。
4. 接続先となるネットワークを選択します。
5. [**接続**]をクリックします。
6. 必要に応じて、セキュリティ キーを入力します。

新しい無線 LAN ネットワークのセットアップ

以下の機器が必要です。

- ブロードバンド モデム（DSL またはケーブル）（**1**）およびインターネット サービス プロバイダー（ISP）が提供する高速インターネット サービス
- 無線ルーター（別売）（**2**）
- お使いの新しい無線コンピューター（**3**）

注記： モデムは内蔵ルーターに含まれている場合があります。ISP に問い合わせてモデムの種類を確認してください。

下の図は、インターネットに接続している無線 LAN ネットワークのインストール例を示しています。お使いのネットワークを拡張する場合、インターネットのアクセス用に新しい無線または有線のコンピューターをネットワークに追加できます。

無線ルーターの設定

無線 LAN のセットアップについて詳しくは、ルーターの製造元またはインターネット サービス プロバイダー（ISP）から提供されている情報を参照してください。

Windows オペレーティング システムでは、新しい無線ネットワークのセットアップに役立つツールも用意されています。Windows のツールを使用してネットワークを設定するには、**[スタート]**→**[コントロール パネル]**→**[ネットワークとインターネット]**→**[ネットワークと共有センター]**→**[新しい接続またはネットワークのセットアップ]**→**[新しいネットワークのセットアップ]**の順に選択します。次に、画面の説明に沿って操作します。

注記： 最初にルーターに付属しているネットワーク ケーブルを使用して、新しい無線コンピューターをルーターに接続することをおすすめします。コンピューターが正常にインターネットに接続できたら、ケーブルを外し、無線ネットワークを介してインターネットにアクセスできます。

無線 LAN の保護

無線 LAN をセットアップする場合や､既存の無線 LAN にアクセスする場合は､常にセキュリティ機能を有効にして､不正アクセスからネットワークを保護してください。

無線 LAN の保護について詳しくは､『HP ノートブック コンピューター リファレンス ガイド』を参照してください。

5 キーボードおよびポインティング デバイス

この章では、以下の項目について説明します。

- キーボードの使用
- ポインティング デバイスの使用

キーボードの使用

操作キーの使用

操作キーとは、カスタマイズされた動作を行うために使用するキーのことで、それらの動作はキーボード上部にある特定のキーに割り当てられています。

f1～f10 の各キーのアイコンは、操作キーの機能を表します。操作キーを使用するには、そのキーを押したままにして、キーに割り当てられている機能を有効にします。

注記： 操作キーの機能は、出荷時に有効に設定されています。この機能は、セットアップ ユーティリティ（BIOS）で無効にできます。また、fn とファンクション キーのどれかを一緒に押すと、標準設定に戻り、キーに割り当てられている機能が有効になります。詳しくは、『HP ノートブック コンピューター リファレンス ガイド』の「セットアップ ユーティリティ（BIOS）およびシステム診断」の章を参照してください。

注意： セットアップ ユーティリティで設定変更を行う場合は、細心の注意を払ってください。設定を誤ると、コンピューターが正しく動作しなくなる可能性があります。

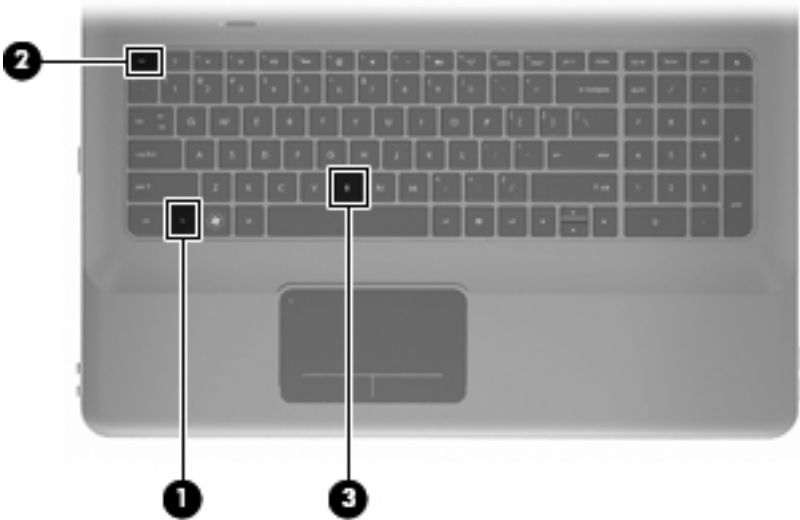
アイコン	キー	説明
	f1	[ヘルプとサポート]を表示します。[ヘルプとサポート]では、Windows オペレーティング システムとコンピューター、質問への回答とチュートリアル、およびコンピューターのアップデートに関する情報が提供されます また、自動的なトラブル解決の方法およびサポート サイトへのリンクも提供されます
	f2	このキーを押し続けると、画面輝度が下がります
	f3	このキーを押し続けると、画面輝度が上がります
	f4	システムに接続されているディスプレイ デバイス間で画面を切り替えます。たとえば、コンピューターに外付けモニターを接続している場合、このキーを使用すると、コンピューター本体のディスプレイ、外付けモニターのディスプレイ、コンピューター本体と外付けモニターの両方のディスプレイのどれかに表示画面が切り替わります ほとんどの外付けモニターは、外付け VGA ビデオ方式を使用してコンピューターからビデオ情報を受け取ります。表示画面切り替えキーで、コンピューターからビデオ情報を受信している他のデバイスとの間でも表示画面を切り替えることができます また、このコンピューターでは複数の表示出力をサポートしています。表示画面切り替えキーを押すと、以下の 4 つの異なるビデオ出力からモードを選択できます ● コンピューターのみのモード ● 複製モード ● 拡張モード ● プロジェクターのみのモード
	f5	キーボードのバックライトをオンまたはオフにします **注記：** 出荷時設定では、キーボードのバックライトはオンになっています。バッテリ電源の使用可能時間を延ばすには、キーボードのバックライトをオフにします
	f6	Web ブラウザーを開きます **注記：** インターネットまたはネットワーク サービスを設定するまで、このキーを押すとインターネット接続ウィザードが開きます
	f7	このキーを押し続けると、スピーカーの音量が一定の割合で徐々に下がります
	f8	このキーを押し続けると、スピーカーの音量が一定の割合で徐々に上がります

アイコン	キー	説明
	f9	スピーカーの音を消したり元に戻したりします
	f10	無線機能をオンまたはオフにします **注記：** このキーでは無線接続は確立されません。無線接続を確立するには、無線ネットワークがセットアップされている必要があります

ホットキーの使用

ホットキーは、fn キー（1）と、esc キー（2）または b キー（3）の組み合わせです。

ホットキーを使用するには、以下の操作を行います。

▲ fn キーを短く押し、次にホットキーの組み合わせの 2 番目のキーを短く押します。

機能	ホットキー	説明
システム情報を表示する	fn + esc	システムのハードウェア コンポーネントやシステム BIOS のバージョン番号に関する情報が表示されます
低音設定を調整する	fn + b	[HP Beats Audio]の低音設定を調整します [HP Beats Audio]とは、クリアなサウンドを維持しながら制御された低音を提供する拡張オーディオ プロファイルです。[HP Beats Audio]は、初期設定で有効に設定されています。 低音設定の表示と調整は Windows オペレーティング システムでも行うことができます。低音のプロパティを表示して調整するには、**[スタート]**→**[コントロール パネル]**→**[ハードウェアとサウンド]**→**[Beats Audio Control Panel]**（HP Beats Audio コントロール パネル）の順に選択します。

テンキーの使用

内蔵テンキーの使用

名称	説明
内蔵テンキー	外付けテンキーと同じように使用できます。上の図は英語版のキー配列です。日本語版のキー配列とは若干異なりますが、内蔵テンキーの位置は同じです **注記：** このコンピューターには num lk キーがありません

ポインティング デバイスの使用

注記： お使いのコンピューターに付属しているポインティング デバイス以外に、外付け USB マウス（別売）をコンピューターの USB コネクタのどれかに接続して使用できます。

ポインティング デバイス機能のカスタマイズ

ボタンの構成、クリック速度、ポインター オプションのような、ポインティング デバイスの設定をカスタマイズするには、Windows の[マウスのプロパティ]を使用します。

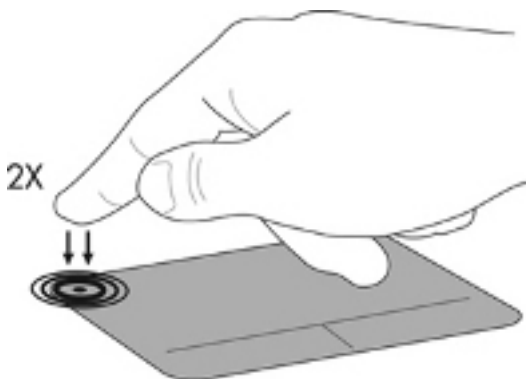
[マウスのプロパティ]にアクセスするには、[**スタート**]→[**デバイスとプリンター**]の順に選択します。次に、お使いのコンピューターを表すデバイスを右クリックして、[**マウス設定**]を選択します。

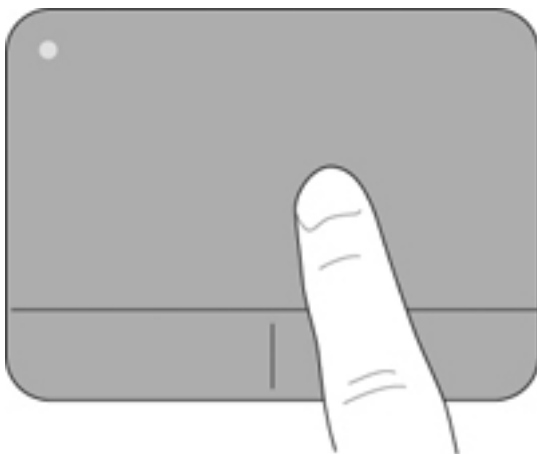
タッチパッドの使用

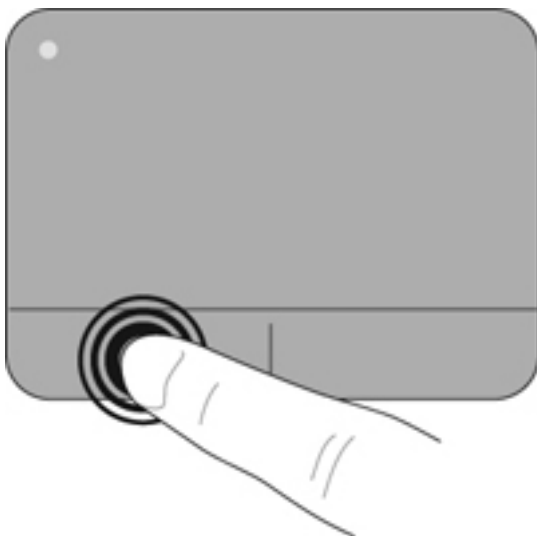
ポインターを移動するには、タッチパッド上でポインターを移動したい方向に 1 本の指をスライドさせます。左のタッチパッド ボタンと右のタッチパッド ボタンは、外付けマウスの左右のボタンと同様に使用します。

タッチパッドのオフ/オンの切り替え

タッチパッド ゾーンのオフとオンを切り替えるには、タッチパッド ランプをすばやくダブルタップします。

注記： タッチパッドがオンになっているときは、タッチパッド ランプは消灯しています。

移動

ポインターを移動するには、タッチパッド上でポインターを移動したい方向に 1 本の指をスライドさせます。

選択

左のタッチパッド ボタンと右のタッチパッド ボタンは、外付けマウスの左右のボタンと同様に使用します。

タッチパッド ジェスチャの使用

タッチパッドでは、さまざまな種類のジェスチャがサポートされています。タッチパッド ジェスチャを使用するには、2本の指を同時にタッチパッド上に置きます。

注記： コンピューターのプログラムによっては、一部のタッチパッド ジェスチャに対応していない場合があります。

ジェスチャのデモンストレーションを確認するには、以下の操作を行います。

1. タスクバーの右端の通知領域にある[**隠れているインジケーターを表示します**]アイコンをクリックします。
2. [**Synaptics Pointing Device**]（シナプティクス ポインティング デバイス）アイコンを右クリックし、[**TouchPad Properties**]（タッチパッドのプロパティ）をクリックします。
3. ジェスチャをクリックし、デモンストレーションを開始します。

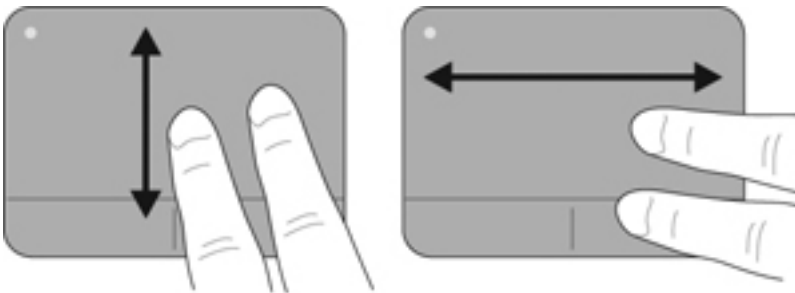
ジェスチャをオンまたはオフにするには、以下の操作を行います。

1. タスクバーの右端の通知領域にある[**隠れているインジケーターを表示します**]アイコンをクリックします。
2. [**Synaptics Pointing Device**]アイコンを右クリックし、[**TouchPad Properties**]をクリックします。
3. オンまたはオフにするジェスチャの横にあるチェック ボックスにチェックを入れます。
4. [**Apply**]（適用）→[**OK**]の順にクリックします。

スクロール

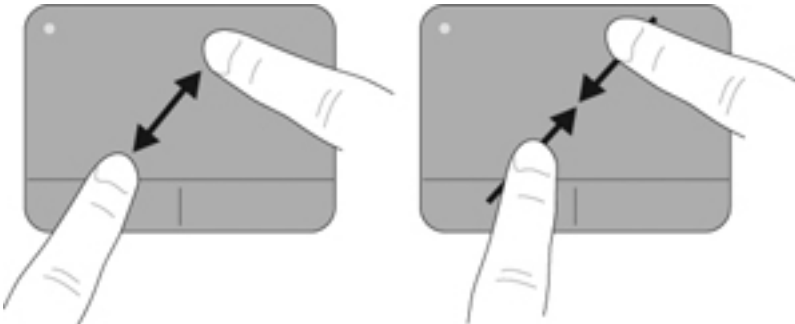
スクロールは、ページや画像を上下左右に移動するときに便利です。スクロールするには、2 本の指を少し離してタッチパッド上に置き、タッチパッド上で上下左右の方向にドラッグします。

注記： スクロールの速度は、指を動かす速度で調整します。

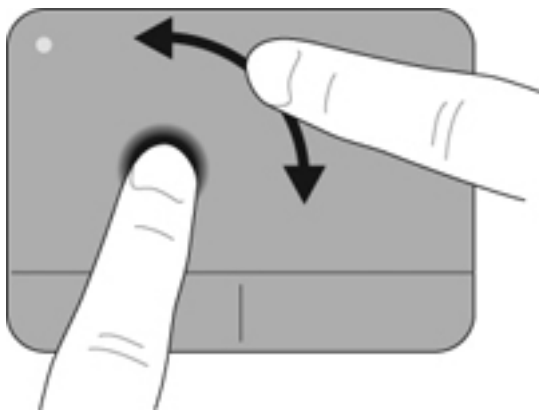
注記： 2 本指スクロールは、出荷時に有効に設定されています。

ピンチ/ズーム

ピンチを使用すると、画像やテキストをズームインまたはズームアウトできます。

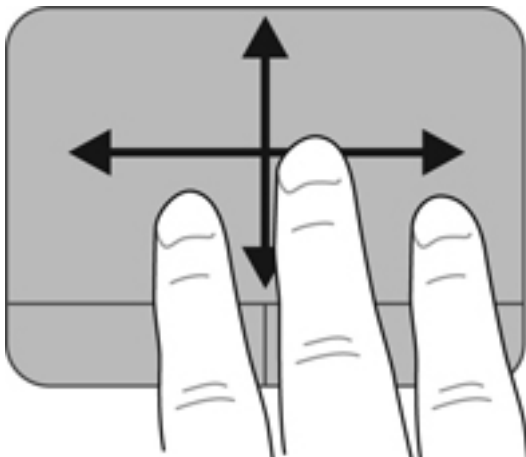
- タッチパッド上で 2 本の指を一緒の状態にして置き、その 2 本の指の間隔を拡げるとズームインできます。
- タッチパッド上で 2 本の指を互いに離した状態にして置き、その 2 本の指の間隔を狭めるとズームアウトできます。

注記： ピンチ/ズーム ジェスチャは、出荷時の設定で有効に設定されています。

回転

回転ジェスチャを使用すると、写真などの項目を回転できます。回転させるには、左手の人差し指をタッチパッド ゾーンに固定します。固定した指を中心として、右手の人差し指を 12 時から 3 時の位置へと弧を描きながら動かします。逆方向へと回転させるには、右手の人差し指を 3 時から 12 時の方向に動かします。

注記： 回転ジェスチャは、出荷時の設定で無効に設定されています。

フリック

フリック ジェスチャを使用すると、画面を切り替えたりドキュメントをすばやくスクロールしたりできます。フリックを行うには、3 本の指をタッチパッド ゾーンに置いて、上、下、左、または右方向に払うように速く動かします。

注記： 3 本指フリックは、出荷時に無効に設定されています。

6 メンテナンス

この章では、以下の項目について説明します。

バッテリの着脱

注記： バッテリは、出荷時にバッテリ ベイにあらかじめ装着されています。

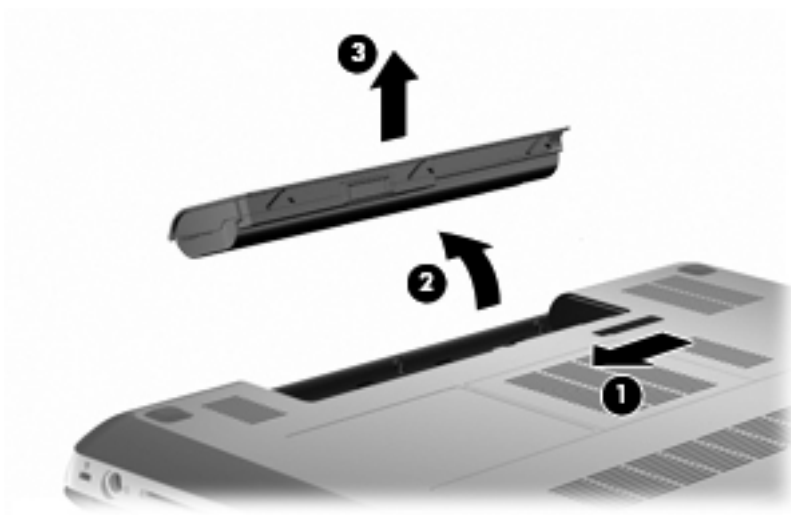
注記： バッテリの使用方法について詳しくは、『HP ノートブック コンピューター リファレンス ガイド』を参照してください。

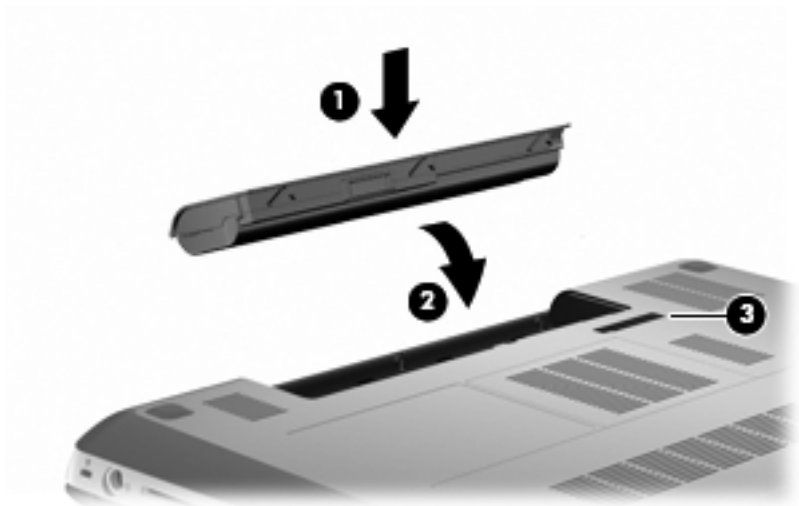
バッテリの取り外し

注意： コンピューターの電源としてバッテリのみを使用しているときにそのバッテリを取り外すと、情報が失われる可能性があります。バッテリを取り外す場合は、情報の損失を防ぐため、あらかじめハイバネーションを開始するか Windows の通常の手順でシャットダウンしておいてください。

1. バッテリ リリース ラッチをスライドさせて（**1**）バッテリの固定を解除します。

2. バッテリを回転させるようにして引き上げて（**2**）、コンピューターから取り外します（**3**）。

バッテリの装着

▲ バッテリのタブをバッテリ ベイの外側の縁のくぼみに合わせてから（**1**）、バッテリを回転させるようにしてバッテリ ベイに挿入し（**2**）、しっかりと収まるまで押し込みます。

バッテリ リリース ラッチ（**3**）でバッテリが自動的に固定されます。

ハードドライブの交換またはアップグレード

注意： 情報の損失やシステムの応答停止を防ぐため、以下の点に注意してください。

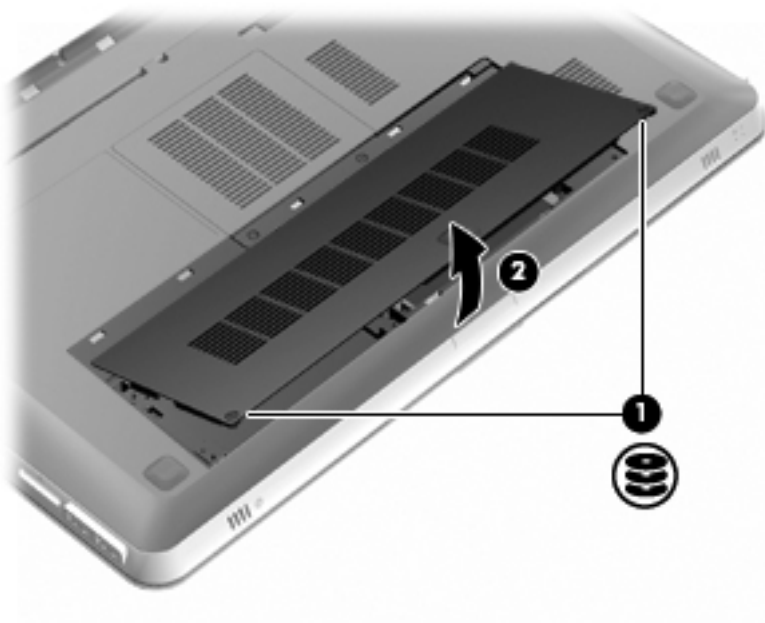
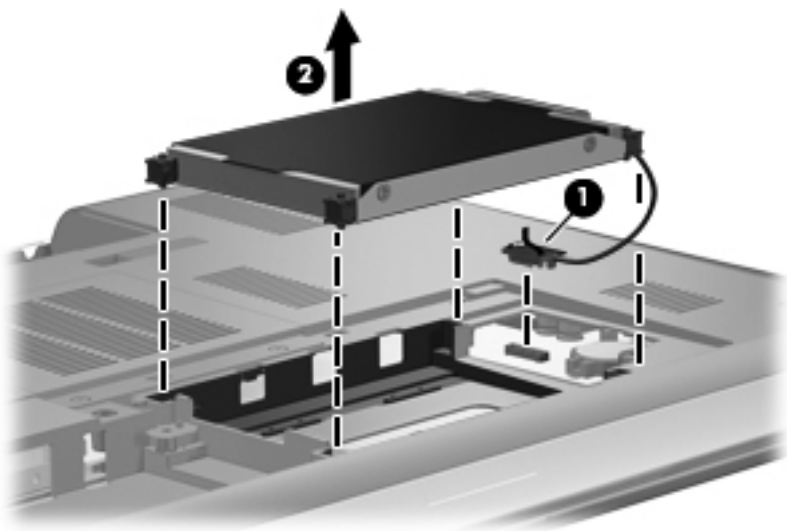
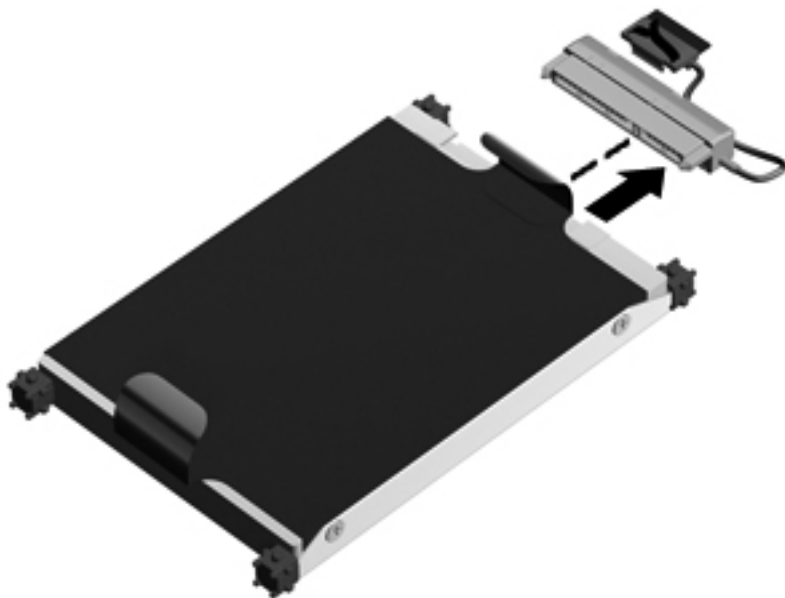
ハードドライブ ベイからハードドライブを取り外す前に、コンピューターをシャットダウンしてください。コンピューターの電源が入っているときや、スリープまたはハイバネーション状態のときには、ハードドライブを取り外さないでください。

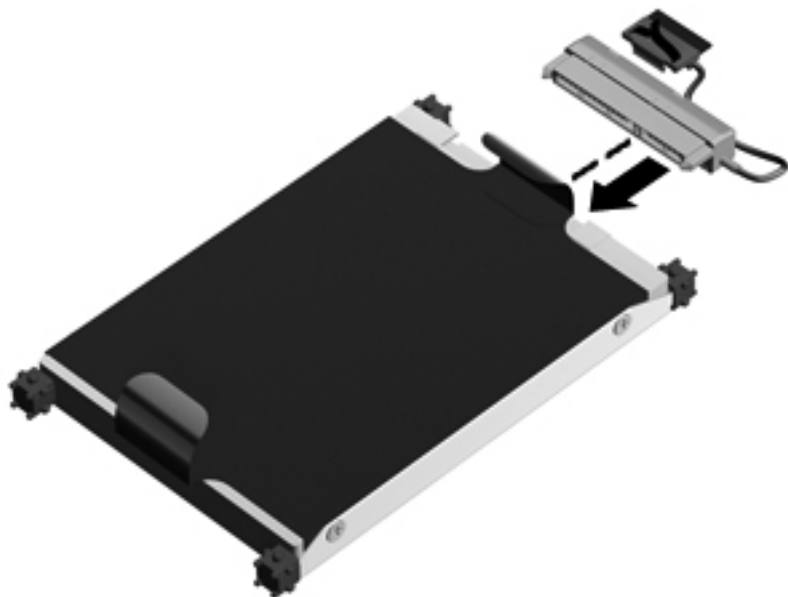
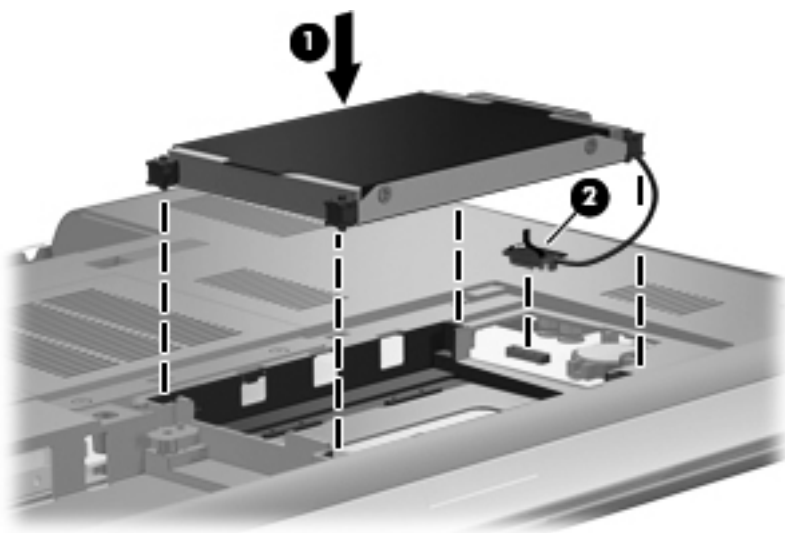
コンピューターの電源が切れているかハイバネーション状態なのかわからない場合は、まず電源ボタンを押してコンピューターの電源を入れます。次にオペレーティング システムの通常の手順でシャットダウンします。

注記： コンピューターのモデルによっては、最大で 2 つのドライブをサポートしています。コンピューターに取り付けられているドライブを表示するには、**[スタート]**→**[コンピューター]**の順に選択します。

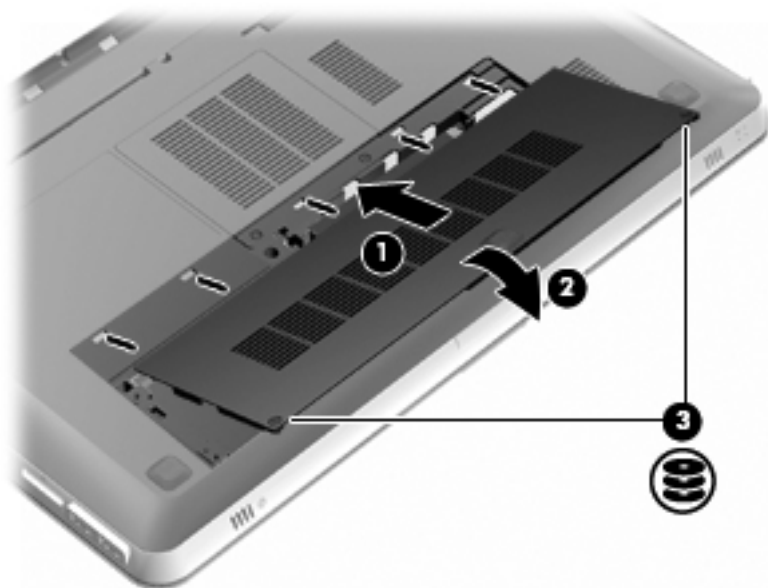
ハードドライブの取り外し

1. 作業中のデータを保存してコンピューターをシャットダウンします。
2. コンピューターに接続されているすべての外付けデバイスを取り外します。
3. 電源コンセントから電源コードを抜いて外部電源から切り離した後、バッテリを取り外します。
4. ハードドライブ カバーの 2 つのネジ（**1**）を緩めます。

5. ハードドライブ カバーを取り外します（**2**）。

6. ハードドライブ ケーブル（**1**）をコンピューターから外し、ハードドライブをハードドライブ ベイから取り外します（**2**）。

7. ハードドライブ ケーブルをハードドライブから外します。

ハードドライブの取り付け

1. ハードドライブ ケーブルをハードドライブに接続します。

2. ハードドライブをハードドライブ ベイに挿入し（**1**）、ハードドライブ ケーブル（**2**）をコンピューターに接続します。

3. ハードドライブ カバーのタブを、コンピューターのくぼみに合わせます（**1**）。

4. カバーを取り付けなおします（**2**）。

5. ハードドライブ カバーのネジ（3）を締めます。

6. バッテリを取り付けなおします。

7. 外部電源および外付けデバイスを取り付けなおします。

8. コンピューターの電源を入れます。

メモリ モジュールの追加または交換

お使いのコンピューターには、2 つのメモリ モジュール スロットが装備されています。メモリ モジュール スロットは、コンピューター裏面のハードドライブ カバーの下に装備されています。コンピューターのメモリ容量を増やすには、メモリ モジュールを追加するか、またはメモリ モジュール スロットのどちらかに装着されている既存のメモリ モジュールを交換します。

警告！ 感電や装置の損傷を防ぐため、電源コードとすべてのバッテリを取り外してからメモリ モジュールを取り付けてください。

注意： 静電気（ESD）によって電子部品が損傷することがあります。作業を始める前にアースされた金属面に触るなどして、身体にたまった静電気を放電してください。

注記： ２つ目のメモリ モジュールを追加してデュアル チャネル構成を使用する場合は、２つのメモリ モジュールを必ず同じ容量にしてください。

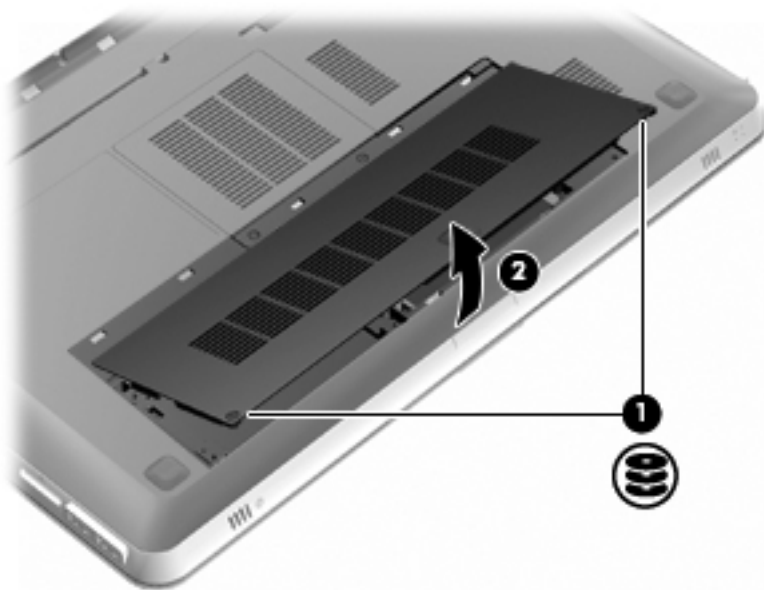
メモリ モジュールを追加または交換するには、以下の操作を行います。

注意： 情報の損失やシステムの応答停止を防ぐため、以下の点に注意してください。

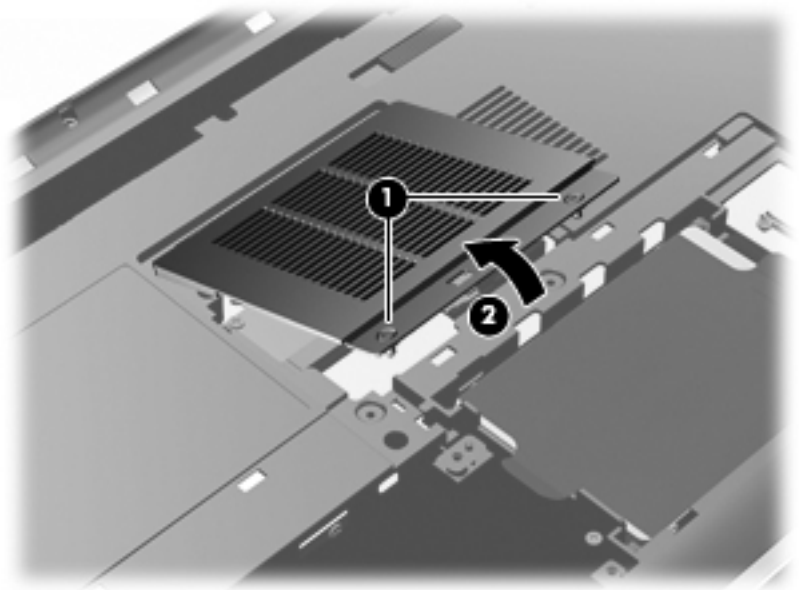
コンピューターからメモリ モジュールを取り外す前に、コンピューターをシャットダウンしてください。コンピューターの電源が入っているときや、スリープまたはハイバネーション状態のときには、メモリ モジュールを取り外さないでください。

コンピューターの電源が切れているかハイバネーション状態なのかわからない場合は、まず電源ボタンを押してコンピューターの電源を入れます。次にオペレーティング システムの通常の手順でシャットダウンします。

1. 作業中のデータを保存してコンピューターをシャットダウンします。
2. コンピューターに接続されているすべての外付けデバイスを取り外します。
3. 電源コンセントから電源コードを抜いて外部電源から切り離した後、バッテリを取り外します。
4. ハードドライブ カバーを取り外します。
    a. ハードドライブ カバーの２つのネジ（**1**）を緩めます。

b. ハードドライブ カバーを取り外します（**2**）。

5. メモリ モジュール コンパートメント カバーを取り外します。

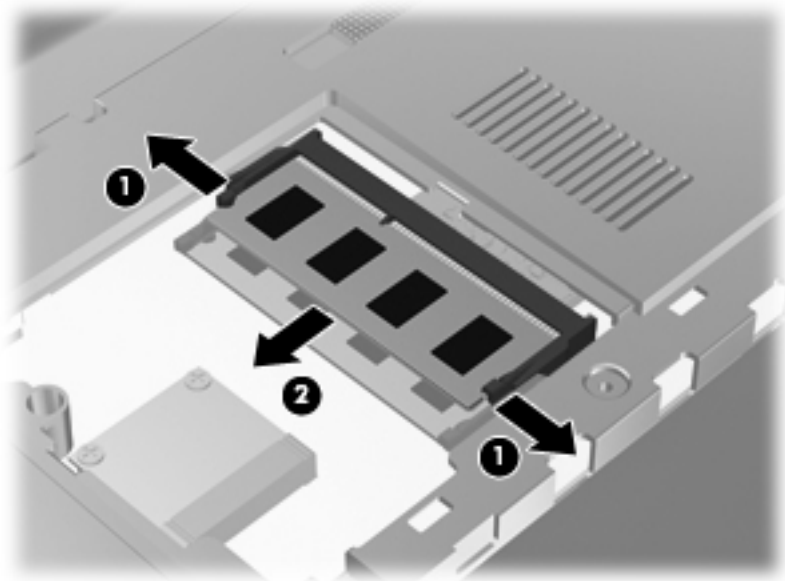
a. メモリ モジュール コンパートメントの 2 つのネジ（**1**）を緩めます。

b. メモリ モジュール コンパートメント カバーを取り外します（**2**）。

6. メモリ モジュールを交換する場合は、以下の要領で装着されているメモリ モジュールを取り外します。

a. メモリ モジュールの両側にある留め具を左右に引っ張ります（**1**）。

メモリ モジュールが少し上に出てきます。

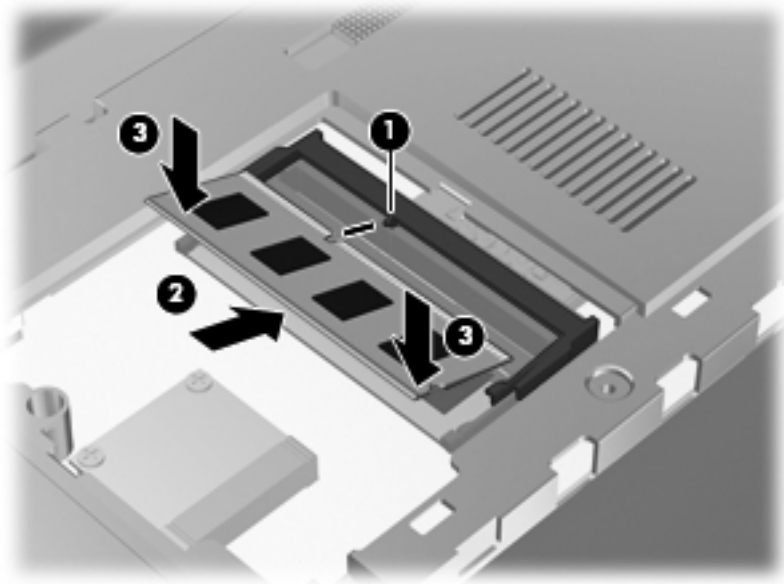
b. メモリ モジュールの左右の端の部分を持って、そのままゆっくりと斜め上に引き抜いて（**2**）取り外します。

⚠ **注意：** メモリ モジュールの損傷を防ぐため、メモリ モジュールを扱うときは必ず左右の端を持ってください。メモリ モジュールの端子部分には触らないでください。取り外したメモリ モジュールは、静電気の影響を受けない容器に保管しておきます。

7. 以下の要領で、新しいメモリ モジュールを取り付けます。

⚠ **注意：** メモリ モジュールの損傷を防ぐため、メモリ モジュールを扱うときは必ず左右の端を持ってください。メモリ モジュールの端子部分に触ったり、メモリ モジュールを折り曲げたりしないように注意してください。

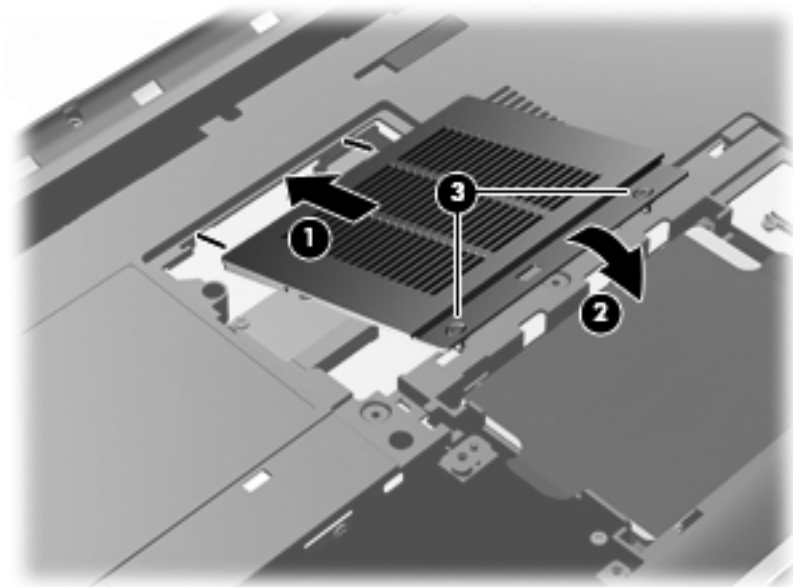
a. メモリ モジュールの切り込み（**1**）とメモリ モジュール スロットのタブを合わせます。

b. しっかりと固定されるまでメモリ モジュールを 45°の角度でスロットに押し込み、所定の位置に収まるまでメモリ モジュールを押し下げます（**2**）。

c. カチッと音がして留め具がメモリ モジュールを固定するまで、メモリ モジュールの左右の端をゆっくりと押し下げます（**3**）。

8. メモリ モジュール コンパートメント カバーを取り付けなおします。

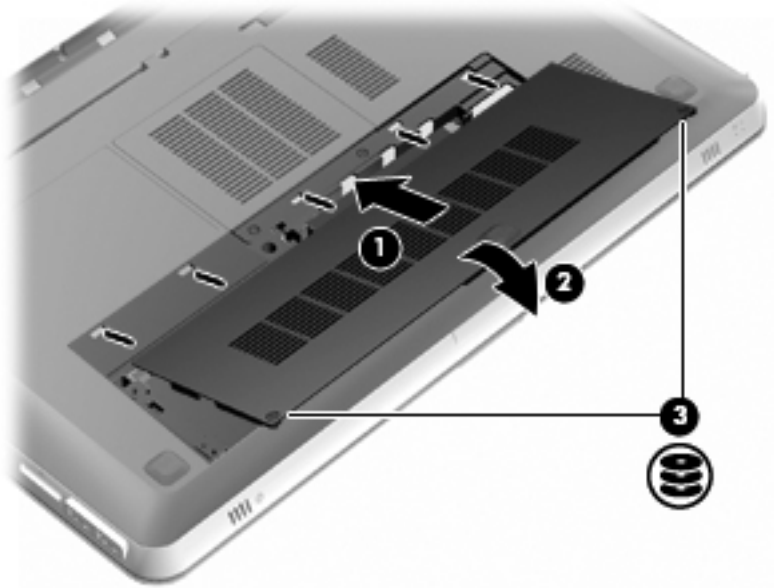
a. メモリ モジュール コンパートメント カバーのタブを、コンピューターのくぼみに合わせます（**1**）。

b. カバーを取り付けなおします（**2**）。

c. メモリ モジュール コンパートメントの 2 つのネジ（**3**）を締めます。

9. ハードドライブ カバーを取り付けます。

a. ハードドライブ カバーのタブを、コンピューターのくぼみに合わせます（**1**）。

b. カバーを取り付けなおします（**2**）。

c. ハードドライブ カバーの 2 つのネジ（3）を締めます。

10. バッテリを取り付けなおします。

11. 外部電源および外付けデバイスを取り付けなおします。

12. コンピューターの電源を入れます。

コンピューターの清掃

ディスプレイの清掃

注意： コンピューターの破損を防ぐため、ディスプレイには絶対に水、液体クリーナー、化学薬品をかけないでください。

汚れやほこりを取り除くため、糸くずの出ない、軽く湿らせた柔らかい布を使用して定期的にディスプレイを清掃します。汚れが落ちにくい場合は、軽く湿らせた静電気防止の拭き取り用の布や静電気防止の画面用クリーナーを使用します。

タッチパッドとキーボードの清掃

タッチパッドにごみや脂が付着していると、ポインターが画面上で滑らかに動かなくなる場合があります。これを防ぐには、軽く湿らせた布でタッチパッドを定期的に清掃し、コンピューターを使用するときは手をよく洗ってください。

警告！ 感電や内部コンポーネントの損傷を防ぐため、掃除機のアタッチメントを使用してキーボードを清掃しないでください。キーボードの表面に、掃除機からのごみくずが落ちてくることがあります。

キーが固まらないようにするため、また、キーの下に溜まったごみや糸くず、細かいほこりを取り除くために、キーボードを定期的に清掃してください。圧縮空気が入ったストロー付きの缶を使用してキーの周辺や下に空気を吹き付けると、付着したごみがはがれて取り除きやすくなります。

プログラムおよびドライバーの更新

プログラムおよびドライバーを定期的に最新バージョンへ更新することをおすすめします。最新バージョンをダウンロードするには、http://www.hp.com/support/にアクセスしてください。コンピューターを登録するときに、アップデートが使用可能になった場合に自動更新通知を受け取るように設定することもできます。

7 バックアップおよび復元

お使いのコンピューターには、オペレーティング システムに付属のツールおよび HP が提供しているツールが含まれています。これらを使用すると障害発生時に情報を保護および復元できます。

この章には、以下のトピックに関する情報が含まれています。

- リカバリ ディスク セットまたはリカバリ フラッシュ ドライブの作成（[HP Recovery Manager]（HP リカバリ マネージャー）ソフトウェアの機能）
- （復元用パーティション、リカバリ ディスク、またはリカバリ フラッシュ ドライブからの）システムの復元の実行
- 情報のバックアップ
- プログラムまたはドライバーの復元

復元

ハードドライブに障害が発生した場合にシステムを工場出荷時の状態に復元するには、[HP Recovery Manager]（HP リカバリ マネージャー）を使用して作成できるリカバリ ディスク セットまたはリカバリ フラッシュ ドライブが必要になります。ソフトウェアをセットアップしたらすぐに、[HP Recovery Manager]を使用して、リカバリ ディスク セットまたはリカバリ フラッシュ ドライブを作成することをおすすめします。

その他の理由からシステムを復元する必要がある場合は、HP 復元用パーティション（一部のモデルのみ）を使用して復元できます。この場合、リカバリ ディスクまたはリカバリ フラッシュ ドライブは必要ありません。復元用パーティションの有無を確認するには、[**スタート**]をクリックし、[**コンピューター**]を右クリックして[**管理**]→[**ディスクの管理**]の順にクリックします。復元用パーティションがある場合、ウィンドウにリカバリ ドライブが表示されます。

注意： [HP Recovery Manager]（パーティションまたはディスク/フラッシュ ドライブ）は、工場出荷時にプリインストールされていたソフトウェアのみを復元します。このコンピューターにインストールされていなかったソフトウェアは、手動で再インストールする必要があります。

注記： 復元用パーティションがないコンピューターには、リカバリ ディスクが付属しています。

復元メディアの作成

ハードドライブに障害が発生した場合または何らかの理由で復元用パーティション ツールを使用して復元できない場合に、コンピューターを工場出荷時の状態に復元できるように、リカバリ ディスク セットまたはリカバリ フラッシュ ドライブを作成しておくことをおすすめします。リカバリ ディスクまたはリカバリ フラッシュ ドライブは、コンピューターを最初にセットアップした後、なるべく早く作成してください。

注記： [HP Recovery Manager]（HP リカバリ マネージャー）を使用して作成できるリカバリ ディスクまたはリカバリ フラッシュ ドライブは、1 セットのみです。リカバリ ディスクまたはリカバリ フラッシュ ドライブは慎重に取り扱い、安全な場所に保管してください。

注記： お使いのコンピューターにオプティカル ドライブが内蔵されていない場合は、外付けオプティカル ドライブ（別売）を使用してリカバリ ディスクを作成するか、または HP の Web サイトからお使いのコンピューターに適切なリカバリ ディスクを購入できます。外付けオプティカル ドライブを使用する場合は、USB ハブなどの他の外付けデバイスにある USB コネクタではなく、コンピューター本体の USB コネクタに直接接続する必要があります。

ガイドライン：

- 高品質な DVD-R、DVD+R、DVD-R DL、または DVD+R DL ディスクを購入してください。

注記： [HP Recovery Manager]ソフトウェアは、CD-RW、DVD±RW、2 層記録 DVD±RW、および BD-RE（再書き込みが可能なブルーレイ）ディスクなどのような書き換え可能なディスクには対応していません。

- このプロセスでは、コンピューターを外部電源に接続する必要があります。
- リカバリ ディスクまたはリカバリ フラッシュ ドライブは、1 台のコンピューターに対して 1 セットのみ作成できます。

注記： リカバリ ディスクを作成する場合は、各ディスクに番号を付けてからオプティカル ドライブに挿入します。

- 必要に応じて、リカバリ ディスクまたはリカバリ フラッシュ ドライブの作成が完了する前に、プログラムを終了させることができます。次回[HP Recovery Manager]を起動すると、バックアップ作成プロセスを続行するかどうかを確認するメッセージが表示されます。

リカバリ ディスク セットまたはリカバリ フラッシュ ドライブを作成するには、以下の操作を行います。

1. **[スタート]**→**[すべてのプログラム]**→**[HP]**→**[HP Recovery Manager]**（HP リカバリ マネージャー）→**[HP Recovery Media Creation]**（HP リカバリ メディアの作成）の順に選択します。
2. 画面に表示される説明に沿って操作します。

システムの復元の実行

[HP Recovery Manager]（HP リカバリ マネージャー）ソフトウェアを使用して、コンピューターを工場出荷時の状態に修復または復元できます。[HP Recovery Manager]は、リカバリ ディスク、リカバリ フラッシュ ドライブ、またはハードドライブ上の専用の復元用パーティション（一部のモデルのみ）から実行できます。

注記： コンピューターのハードドライブに障害が発生した場合や、コンピューターの動作上の問題を修正しようとする試みがすべて失敗した場合は、システムの復元を実行する必要があります。システムの復元は、コンピューターの問題を修正するための最後の手段として試みてください。

システムの復元を実行する場合は、以下の点に注意してください。

- システムの復元は、以前バックアップを行ったシステムに対してのみ可能です。コンピューターをセットアップしたらすぐに、[HP Recovery Manager]を使用してリカバリ ディスク セットまたはリカバリ フラッシュ ドライブを作成することをおすすめします。
- Windows は、[システムの復元]機能など、独自の修復機能を備えています。これらの機能をまだ試していない場合は、試してから[HP Recovery Manager]を使用してください。
- [HP Recovery Manager]では、出荷時にプリインストールされていたソフトウェアのみが復元されます。このコンピューターに付属していなかったソフトウェアは、製造元の Web サイトからダウンロードしたファイルまたは製造元から提供されたディスクから再インストールする必要があります。

専用の復元用パーティションを使用した復元（一部のモデルのみ）

専用の復元用パーティションを使用する場合、復元処理中にオプションで以下のもののバックアップを実行できます：画像、音楽およびその他のオーディオ、ビデオや動画、録画したテレビ番組、ドキュメント、スプレッドシートおよびプレゼンテーション、電子メール、インターネットのお気に入りおよびインターネット設定

復元用パーティションからコンピューターを復元するには、以下の操作を行います。

1. 以下のどちらかの方法で[HP Recovery Manager]（HP リカバリ マネージャー）にアクセスします。
   - **[スタート]**→**[すべてのプログラム]**→**[HP]**→**[HP Recovery Manager]**（HP リカバリ マネージャー）→**[HP Recovery Manager]**の順に選択します。

     または
   - コンピューターを起動または再起動し、画面の左下隅に[Press the ESC key for Startup Menu]というメッセージが表示されている間に esc キーを押します。次に、画面に[F11 (System Recovery)]というメッセージが表示されている間に、f11 キーを押します。
2. [HP Recovery Manager]ウィンドウの**[System Recovery]**（システムの復元）をクリックします。
3. 画面に表示される説明に沿って操作します。

復元メディアを使用した復元

1. 可能であれば、すべての個人用ファイルをバックアップします。
2. 1 枚目のリカバリ ディスクをお使いのコンピューターのオプティカル ドライブまたは別売の外付けオプティカル ドライブに挿入してから、コンピューターを再起動します。

   または

   お使いのコンピューターの USB コネクタにリカバリ フラッシュ ドライブを挿入してから、コンピューターを再起動します。

   注記： コンピューターが再起動したときに自動的に[HP Recovery Manager]（HP リカバリ マネージャー）が表示されない場合は、コンピューターのブート順序を変更する必要があります。

3. システムの起動時に f9 キーを押します。
4. オプティカル ドライブまたはフラッシュ ドライブを選択します。
5. 画面に表示される説明に沿って操作します。

コンピューターのブート順序の変更

リカバリ ディスクのブート順序を変更するには、以下の操作を行います。

1. コンピューターを再起動します。
2. コンピューターの再起動中に esc キーを押してから、f9 キーを押してブート オプションを表示します。
3. [Boot options]（ブート オプション）ウィンドウで、[**Internal CD/DVD ROM Drive**]（内蔵 CD/DVD ROM ドライブ）を選択します。

リカバリ フラッシュ ドライブのブート順序を変更するには、以下の操作を行います。

1. フラッシュ ドライブを USB コネクタに挿入します。
2. コンピューターを再起動します。
3. コンピューターの再起動中に esc キーを押してから、f9 キーを押してブート オプションを表示します。
4. [Boot options]ウィンドウで、フラッシュ ドライブを選択します。

情報のバックアップおよび復元

ファイルをバックアップして新しいソフトウェアを安全な場所に保管することは、非常に重要です。その後も、新しいソフトウェアやデータファイルの追加に応じて定期的にバックアップを作成しておくようにします。

システムをよりよく復元するためには、より新しいバックアップが必要です。

注記： コンピューターがウィルスの攻撃を受けている場合や、主要なシステム コンポーネントが故障した場合は、最新のバックアップから復元を実行する必要があります。コンピューターの問題を修正するには、システム全体の復元を試みる前に、まずバックアップを使用した復元を試みてください。

情報は、別売の外付けハードドライブ、ネットワーク ドライブ、またはディスクにバックアップできます。以下のようなときに、システムをバックアップします。

- 定期的にスケジュールされた時刻

ヒント： 情報を定期的にバックアップするようにリマインダーを設定します。

- コンピューターを修復または復元する前
- ハードウェアまたはソフトウェアを追加/変更する前

ガイドライン：

- Windows の[システムの復元]機能を使用してシステムの復元ポイントを作成し、定期的にオプティカル ディスクまたは外付けハードドライブにコピーします。システムの復元ポイントの使用方法について詳しくは、82 ページの「Windows システムの復元ポイントの使用」を参照してください。
- 個人用ファイルを[ドキュメント]ライブラリに保存し、このフォルダーを定期的にバックアップします。
- カスタマイズされているウィンドウ、ツールバー、またはメニューバーの設定のスクリーン ショット（画面のコピー）を撮って保存します。設定をもう一度入力する必要がある場合、画面のコピーを保存しておくと時間を節約できます。

スクリーン ショットを作成するには、以下の操作を行います。

1. 保存する画面を表示させます。
2. 表示されている画面を、クリップボードに画像としてコピーします。

   アクティブなウィンドウだけをコピーするには、alt + prt sc キーを押します。

   画面全体をコピーするには、prt sc キーを押します。
3. ワープロ ソフトなどの文書を開くか新しく作成して**[編集]**→**[貼り付け]**の順に選択します。画面のイメージが文書に追加されます。
4. 文書を保存して印刷します。

Windows の[バックアップと復元]の使用

ガイドライン：

- お使いのコンピューターが外部電源に接続されていることを確認してから、バックアップ処理を開始してください。
- 処理完了まで十分な時間の余裕があるときにバックアップ処理を行います。ファイル サイズによっては、処理に 1 時間以上かかる場合があります。

バックアップを作成するには、以下の操作を行います。

1. **[スタート]**→**[コントロール パネル]**→**[システムとセキュリティ]**→**[バックアップと復元]**の順に選択します。
2. 画面の説明に沿って操作し、バックアップのスケジュール設定とバックアップの作成を行います。

注記： Windows には、コンピューターのセキュリティを高めるためのユーザー アカウント制御機能が含まれています。ソフトウェアのインストール、ユーティリティの実行、Windows の設定変更などを行うときに、ユーザーのアクセス権やパスワードの入力を求められる場合があります。詳しくは、[ヘルプとサポート]を参照してください。

Windows システムの復元ポイントの使用

システムの復元ポイントによって、特定の時点でのハードドライブのスナップショットに名前を付けて保存できます。復元ポイント作成後に変更を破棄したい場合に、そのポイントまで戻ってシステムを回復できます。

注記： 以前の復元ポイントに復元しても、最後の復元ポイント後に作成されたデータ ファイルや電子メールには影響がありません。

また、追加の復元ポイントを作成して、ファイルおよび設定の保護を強化できます。

復元ポイントを作成するとき

- ソフトウェアまたはハードウェアを追加/変更する前
- コンピューターが最適な状態で動作しているとき（定期的に行います）

注記： 復元ポイントまで戻した後に考えが変わった場合は、その復元を取り消すことができます。

システムの復元ポイントの作成

1. [**スタート**]→[**コントロール パネル**]→[**システムとセキュリティ**]→[**システム**]の順に選択します。
2. 左側の枠内で、[**システムの保護**]をクリックします。
3. [**システムの保護**]タブをクリックします。
4. 画面に表示される説明に沿って操作します。

以前のある日時の状態への復元

コンピューターが最適な状態で動作していた（以前のある日時に作成した）復元ポイントまで戻すには、以下の操作を行います。

1. [**スタート**]→[**コントロール パネル**]→[**システムとセキュリティ**]→[**システム**]の順に選択します。
2. 左側の枠内で、[**システムの保護**]をクリックします。
3. [**システムの保護**]タブをクリックします。
4. [**システムの復元**]をクリックします。
5. 画面に表示される説明に沿って操作します。

8 サポート窓口

この章では、以下の項目について説明します。

- サポート窓口へのお問い合わせ
- ラベル

サポート窓口へのお問い合わせ

このユーザー ガイド、『HP ノートブック コンピューター リファレンス ガイド』、または[ヘルプとサポート]で提供されている情報で問題に対処できない場合は、以下の HP サポート窓口または『サービスおよびサポートを受けるには』に記載されているサポート窓口にお問い合わせください。

http://www.hp.com/go/contactHP

注記： 日本以外の国や地域でのサポートについては、http://welcome.hp.com/country/us/en/wwcontact_us.html（英語サイト）から該当する国や地域、または言語を選択してください。

ここでは、以下のことを行うことができます。

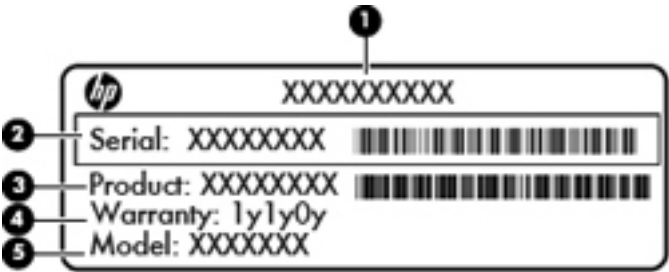
- HP のサービス担当者とオンラインでチャットする。

  注記： 特定の言語でサポート窓口とのチャットを利用できない場合は、英語でご利用ください。

- HP のサポート窓口に電子メールで問い合わせる。
- 各国の HP のサポート窓口の電話番号を調べる。
- HP のサービス センターを探す。

ラベル

コンピューターに貼付されているラベルには、システムの問題を解決したり、コンピューターを日本国外で使用したりするときに必要な情報が記載されています。

- シリアル番号ラベル：以下の情報を含む重要な情報が記載されています。

名称	
(1)	製品名
(2)	シリアル番号（s/n）
(3)	製品番号（p/n）
(4)	保証期間
(5)	モデルの説明

これらの情報は、サポート窓口にお問い合わせになるときに必要です。シリアル番号ラベルは、バッテリ ベイ内に貼付されています。

- Microsoft® Certificate of Authenticity：Windows のプロダクト キー（Product Key、Product ID）が記載されています。プロダクト キーは、オペレーティング システムのアップデートやトラブルシューティングのときに必要になる場合があります。Microsoft Certificate of Authenticity はコンピューターの裏面にあります。
- 規定ラベル：コンピューターの規定に関する情報が記載されています。規定ラベルは、バッテリ ベイ内に貼付されています。
- 無線認定/認証ラベル（一部のモデルのみ）：オプションの無線デバイスに関する情報と、認定各国または各地域の一部の認定マークが記載されています。1 つ以上の無線デバイスを使用している機種には、

1 つ以上の認定ラベルが貼付されています。日本国外でモデムを使用するときに、この情報が必要になる場合があります。無線認定/認証ラベルはバッテリ ベイの内側に貼付されています。

9 仕様

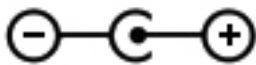
入力電源

ここで説明する電源の情報は、お使いのコンピューターを国外で使用する場合に役立ちます。

コンピューターは、AC 電源または DC 電源から供給される DC 電力で動作します。AC 電源は 100～240 V（50/60 Hz）の定格に適合している必要があります。コンピューターは単独の DC 電源で動作しますが、コンピューターの電力供給には、このコンピューター用に HP から提供および認可されている AC アダプターまたは DC 電源のみを使用する必要があります。

お使いのコンピューターは、以下の仕様の DC 電力で動作できます。

入力電源	定格
動作電圧と電流	19.5 V DC（6.5 A、120 W の場合）

HP 外部電源用 DC プラグ

注記： この製品は、最低充電量 240 V rms 以下の相対電圧によるノルウェーの IT 電源システム用に設計されています。

注記： コンピューターの動作電圧および動作電流は、システムの規定ラベルに記載されています。

動作環境

項目	メートル	U.S.
温度		
動作時（オプティカル ディスク書き込み中）	**5～35°C**	41～95°F
非動作時	**-20～60°C**	-4～140°F
相対湿度（結露しないこと）		
動作時	**10～90%**	10～90%
非動作時	**5～95%**	5～95%
最大標高（非与圧）		
動作時	**-15～3,048 m**	-50～10,000 フィート
非動作時	**-15～12,192 m**	-50～40,000 フィート

A　RAID 0（一部のモデルのみ）

ハードドライブが 2 つあるモデルのコンピューターの中には、RAID 0 構成で出荷されているものがあります。RAID は、大きいサイズのファイルで頻繁に作業したり、コンピューターのストレージのパフォーマンスを向上させたりしたいコンピューターのユーザーにとって利点があります。RAID 0 では、両方のドライブにデータが分散されます。データを両方のドライブから同時に読み取るため、これによって、特に大きなサイズのファイルのデータをより高速に読み取ることができます。ただし、RAID 0 には耐障害性がなく、1 つのドライブの障害時にはアレイ全体に障害が発生することを意味します。

RAID 0 の書き込みパフォーマンスを強化するため、Intel Rapid Storage Technology ではボリュームのライトバック キャッシュを実装しています。ボリュームのライトバック キャッシュを使用すると、キャッシュをバッファーに保存できるようになり、コアレシング機能が向上します。キャッシュは初期設定で有効にされており、Intel Rapid Storage Technology で無効にすることも、再び有効にすることもできます。キャッシュを有効にする場合は、UPS（Uninterrupted Power Supply）を使用することをおすすめします。

RAID 0 の無効化

注意： RAID 0 を無効にすると、ハードドライブの内容が完全に消去され、ハードドライブが再フォーマットされます。コンピューター上に作成したすべてのファイルおよびインストールしたすべてのソフトウェアが完全に削除されます。RAID 0 を無効にする前に、情報をバックアップし、リカバリ ディスクのセットを作成してください。詳しくは、75 ページの「バックアップおよび復元」を参照してください。

RAID 0 を無効にするには、以下の操作を行います。

1. リカバリ ディスクのセットを作成します。RAID 0 を無効にした後、ハードドライブの内容は完全に消去されます。詳しくは75 ページの「バックアップおよび復元」を参照してください。

   イメージ全体を復元する場合は、サービス リカバリ ディスクがあることを確認してください。最小限の工場出荷時のイメージを復元する場合は、[HP Recovery Manager]を使用して作成したリカバリ ディスクのセットがあることを確認してください。

   注記： 必要なすべての個人用ファイルをバックアップしていることを確認してください。このコンピューターに付属していないソフトウェアは、製造元の Web サイトからダウンロードしたファイルまたは製造元から提供されたディスクなどを使用して、別途、再インストールする必要があります。

2. コンピューターの電源を入れるか、再起動します。画面の左下隅に[Press the ESC key for Startup Menu]というメッセージが表示されている間に、esc キーを押します。[Startup Menu]（スタートアップ メニュー）が表示されたら f10 キーを押します。
3. 矢印キーを使用して[**System Configuration**]（システム コンフィギュレーション）を選択し、[**RAID OROM UI**]（RAID OROM ユーザー インターフェイス）を[**enable**]（有効）に変更します。

4. 矢印キーを使用して［**Exit**］（終了）→［**Exit Saving Changes**］（変更を保存して終了）の順に選択し、［**Yes**］（はい）をクリックして変更を保存し、コンピューターを再起動します。

5. POST 画面が表示されたら、ctrl ＋ i キーを押してコンフィギュレーション ユーティリティを起動します。

6. ［**Main**］（メイン）メニューで、上矢印キーや下矢印キーを使用して［**3. Reset Disks to Non-RAID**］（3. 非 RAID へのディスクの再設定）を選択して、enter キーを押します。[Reset RAID Data]（RAID データのリセット）ウィンドウが表示されます。

7. スペースバーを押して、最初のハードドライブを選択してから、下矢印キーとスペースバーを押して 2 番目のハードドライブを選択します。

8. enter キーを押してから y キーを押して選択を確認します。

注意： 選択を確定すると、ハードドライブの内容が完全に消去され、ハードドライブが再フォーマットされます。

9. 下矢印キーを使用して、［**5. Exit**］（5. 終了）を選択します。

10. enter キーを押してから y キーを押します。[No bootable device]（起動可能なデバイスがありません）というメッセージが画面に表示されます。

11. 1 枚目のサービス リカバリ ディスクまたは自分で作成した 1 枚目のリカバリ ディスクを挿入してから、コンピューターを再起動します。

12. f9 キーを押してブート オプション メニューを表示し、ブート デバイスとして [Internal CD/DVD ROM Drive]（内蔵 CD/DVD ROM ドライブ）を選択します。

13. サービス リカバリ ディスクのセットを使用した場合は、画面の説明に沿って操作し、復元を完了します。

    または

    自分で作成したリカバリ ディスクのセットを使用した場合は、[Minimized System Recovery]（最小限のシステムの復元）を選択してから、画面の説明に沿って操作し、復元を完了します。

索引